

施策	111	評価担当課名:健康課	関連部局:医療保険課	後期基本計画掲載 P.4
----	-----	------------	------------	-----------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	1.健康づくりの推進
中項目の基本方針	市民一人ひとりの健康への意識を高め、健康づくりを支援するとともに医療体制の一層の充実に努めながら、安心して暮らせる健康・医療環境を築いていく。		

施策名	健康づくりの支援
-----	----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>「健康ささやま21計画」に沿って、自主的な健康づくりへの意識啓発、学習機会の提供、保健医療情報の提供とともに、医療機関など関係機関との連携を密接にし、市民の健康づくりを計画的に推進する。また、母子の健康づくりは、各種健康診査や教室、相談事業を充実させ、「第5次老人保健計画」に基づき生活習慣病予防や介護予防事業の推進に努める。さらに、愛育班やいずみ会など健康に関わる自主組織の育成などを促進し、地域ぐるみでの健康づくりを支援する。</p>
---	--

施策の実施状況 と課題	<p>健診事業では、地区巡回健診の導入等により健診総受診者は増加した。がん検診受診者数は前年度比122%、特に女性特有のがん検診推進事業により女性がんの受診者数が大幅に伸び、マンモグラフィ検診は前年度比179%と効果を上げた。健康教育では、健康増進と介護予防の一体化により実施数が大幅に伸びた。今後も若年者への受診勧奨や青壮年期を重点に置いた取り組みを強化する。母子保健事業では、効果的な発達支援のために5歳児健診を見直し、平成22年度より神戸大学との地域連携事業として就学前発達障害児等早期支援システムを構築する。妊婦健康診査費補助事業については妊婦一人あたり70,000円を上限に522人に対して助成を行った。今後も、妊婦健診にかかる経済的負担軽減のための費用助成を継続する必要がある。</p> <p>高齢者においては、介護予防を中心とした取り組みの中で、特定高齢者の把握事業や民間事業者との連携を深め、高齢者が参加しやすい機会作りを進めている。</p>
----------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
健診・がん検診受診率			%	-	15.9	21.4	-	-	県13.2%(H19) 国の目標50%
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
妊産婦健康診査受診者数	診査にかかる受診者数		人	-	326	522	-	-	-

総合評価	施策の達成度	-	若年者への受診勧奨や青壮年期を重点に置いた取り組みを強化したため、健診の受診者数が増加した。今後も受診率向上を目指すとともに、健康教育、健康相談の実施率向上を目指す、市民全体の健康づくり意識を向上させる。 また、健康ささやま21計画について、具体的な実行計画として策定を行う。 施策を構成する事務事業について、再編・整理を行う。	
	構成事務事業の妥当性	×		抜本的見直し必要
	施策の方向性	➡		これまで通り力を入れる

《施策を構成する事務事業》

事務事業	事務事業名	再生計画	市一般財源 〔人件費込〕 (千円)	活動指標	単位	H20	H21	H22	対H22 達成度	事業の 方向性
						実績値	実績値	目標値		
11101	健診・がん検診事業		43,744	がん検診受診者数	人	9,475	11,405	11,600		A
11102	母子保健推進員活動事業(愛育班活動)		9,428	声かけ訪問件数	人	59,209	56,621	57,000		C
11103	訪問指導事業(こんにちは赤ちゃん事業)		3,054	こんにちは赤ちゃん訪問実施率	%	81.7	84.2	100		A
11104	妊婦健康診査費補助事業		12,582	受益者数	人	326	522	500		B
11105	にっこり!5歳児ステップ教室事業		2,112	参加人数	人	126	154	-	-	D
11106	広報啓発パンフ作成事業		546	配布世帯数	世帯	6,612	6,466	6,500		B
11107	国民健康保険税賦課業務		10,043	国民健康保険税納税通知書発送世帯数	世帯	6,612	6,466	6,500		B
11108	健診等受診補助事業(特定検診)		8,602	特定健診受診件数	人	2,758	3,378	4,172		A
11109	健診等受診補助事業(各種検診・ドック等)		6,112	がん検診等受診者数	人	9,406	9,559	9,600		A
11110	医療費通知事業		2,505	送付件数	件	31,519	31,652	31,800		B
11111	8020運動事業		394	参加人数	人	512	513	571		B
11112	重複・頻回受診相談事業		378	訪問・指導人数	人	16	20	20		A
11113	予防接種事業		53,565	麻疹風しん予防接種2期接種率	%	90.10	93.37	95		B
11114	乳幼児健診事業		14,955	乳幼児検診受診率	%	96	95	100		B
11115	健康教育事業		4,535	健康教育実施数	人	1,205	3,168	5,107		B
11116	健康相談事業		6,528	相談人数	人	3,410	3,520	4,150		B
11117	食生活改善推進活動事業(いずみ会活動)		3,726	篠山市いずみ会会員数	人	267	269	280		A
11118	関係機関連絡事務・会議		9,274	連絡調整に関する会議の開催回数	回	105	176	180		B
11119	親子あそび教室事業		3,390	実施回数	回	22	23	24		B
11120	食育推進事業		1,673	朝食を毎日食べている子どもの割合	%	-	86	90		A
11121	すこやか相談事業		2,604	実施回数	回	24	24	24		B
11122	乳児健康相談事業		2,074	実施回数	回	12	12	12		B
11123	パパママ教室事業		1,788	開催回数	回	12	12	12		B
11124	健康大学事業		3,055	受講者数	人	127	152	120		B
11125	訪問指導事業		2,212	訪問人数	人	78	132	160		A
11126	結核予防事業		3,470	健診日数	日	16	16	16		B
11127	思春期保健福祉体験学習事業		2,089	思春期保健福祉体験学習事業	校	7	7	7		A
11128	子育て相談事業		0	実施回数	回	24	24	24		B
11129	健康増進事業総括事務		2,798	健康観(健康と思う人の割合)	%	-	68.2	向上		B
11130	すくすく相談事業		1,375	実施回数	回	6	6	6		B
11131	母子保健事業総括事務		2,062	子育てを楽しんでいる子どもの割合	%	-	74.5	向上		B
11132	母子健康手帳の交付事業		1,328	母子健康手帳発行数	人	372	343	-	-	B
11133	離乳食教室事業		1,012	開催回数	回	12	11	12		B
11134	献血事業		2,075	献血日数	日	13	13	13		B
11135	健康ささやま21計画事業		1,338	健ささ目標達成率(達成+維持)	%	-	68.9	向上		B
11136	感染症対策事業		8,532	新型コロナウイルス1歳～小学校6年生の総接種者数	人	-	1,614.0	-		A

施策	112	評価担当課名:医療保険課	関連部局:健康課	後期基本計画掲載 P.5
----	-----	--------------	----------	-----------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	1.健康づくりの推進
中項目の基本方針	市民一人ひとりの健康への意識を高め、健康づくりを支援するとともに医療体制の一層の充実に努めながら、安心して暮らせる健康・医療環境を築いていく。		

施策名	医療体制の充実
-----	---------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	疾病予防対策と多様な疾病に対応できる医療環境の充実に図り、在宅医療関係の充実と監査体制の構築、市内医療機関の連携体制の充実を目指す。市内の中核病院を中心とした地域医療体制の構築や包括的なケアサービス展開が図れる医療体制の形成を進める。救急医療は大規模災害への対応システムの構築と初動マニュアルの策定、1署3出張所体制による地域格差の解消を進める。また健康づくりからリハビリまでの一貫した保健医療体制の確立と市立診療所の医療環境の向上に努める。各医療保険、医療制度の健全運営と、福祉医療の制度の見直しを進める。
---	--

施策の実施状況 と課題	診療所 今田・草山はフルタイム診療、東雲・後川は、週3又は2日の診療。今田以外は、年々診療件数が減少傾向。草山のフルタイム、東雲の週3診療のあり方の検討課題。 休日診療 日祝・年末年始70日を休日診療所で診療。休日における一時救急施設として、1日当たり17名程度の利用がある。 病院群輪番制 篠山輪番制度とともに、365日市内での救急受け入れを可能とする。
----------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
全救急搬送の中の市内 病院搬送率			%	-	76.1	74.6	-	-	54.4%(丹波市)
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
4診療所受診者数			人	-	14,068	13,413	-	-	

総合評価	施策の達成度 -	診療所とささやま医療センターの連携を更に深め、兵庫医大のサテライト化に向けた取組を行う。 また、輪番制度については効果が上がっており、評価できるが、二次救急医療の充実は喫緊の課題であり、直ぐには解決できない問題ではあるが、ささやま医療センター及県立柏原病院へ二次救急の充実を引き続き要請する。
	構成事業の妥当性 計画通り進める	
	施策の方向性 これまで通り力を入れる 	



施策	121	評価担当課名:地域福祉課	関連部局:福祉総務課	後期基本計画掲載 P.11
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	2.すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。		

施策名	福祉のまちづくりの推進
-----	-------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	「地域福祉計画」をもとに、市民が自立した地域社会を目指し、近隣住民間の相互扶助、社会福祉法人やボランティアが協力する福祉サービスの充実や住民等による福祉活動の組織化を推進する。また、誰もが快適に暮らせるまちの空間形成を図るため、バリアフリー化の促進や道路・交通環境の改善整備、高齢者や障害のある人に配慮した公営住宅の供給など、福祉のまちづくりを推進する。
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>地域ボランティアについては、高齢者及び障害者への活動を中心に、任意の組織や地域の組織があるが、地域柄であるかもしれないが、ボランティア組織がどんどん増えていく傾向にはない。</p> <p>次に民生委員については、地域福祉における地域での重要な役割を担っていたが、本年が改選時期となるが、5割を超える交代が予想され、資質の向上等が重要な課題となる。</p> <p>障がい者の施策としては、各施設駐車場における障害者用駐車場の設置・施設の障がい者用トイレの設置などが進むとともに、平成21年度には、篠山口駅に障がい者用乗降場所を設置するなど取り組みを進めている。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
民生委員活動日数	民生委員一人当たりの地域活動日数	日	-	123	122	-	-	-
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	地域ボランティアの育成については社会福祉協議会及びまちづくり協議会と連携を行い、地域と密着した取り組みについて検討する。 また、民生委員児童委員の活動支援については人材育成を中心にした取り組みを強化する。 バリアフリー化の促進について、各施設駐車場における障害者用駐車場の設置・施設の障がい者用トイレの設置などが進んでいるが、他の施設においても推進していく。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで以上に力をいれる 	



施策	122	評価担当課名:福祉総務課	関連部局:地域福祉課	後期基本計画掲載 P.11
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	2. すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。		

施策名	社会参加の促進
-----	---------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>高齢者、障がい者の社会参加を促進するため、啓発活動の推進、相談指導体制の充実、スポーツ・文化活動への支援を進めるとともに、障害者の就業支援としてジョブコーチ派遣制度の紹介や社会訓練適用事業所の増加を図る。シルバー人材センターの運営については、業務の増加・開発、会員数の増加を、業務の安全性の確認を徹底する。老人クラブについても魅力あるクラブ作りと活動の活性化支援を進めるとともに、前期高齢者層の高齢期を支援するための施策充実と、それぞれの経験を活かせる仕組みづくりを進め、生きがいある福祉活動の推進を図る。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>高年齢者就業機会確保事業 会員数は年々増加の傾向。しかしながら、受託件数及び額はH19年度以降減少傾向。また、H22年度からセンターへの国庫補助金の大幅減額。人員の整理など進める中、経営状況は非常に厳しい。安定した経営、受注額の増加などが課題。</p> <p>障がい者の社会参加 聴覚障害者の社会参画しやすい環境づくりとして、市役所内に手話通訳者を配置し、様々な相談や社会参画に向けた支援を行っている。</p> <p>老人クラブ 5クラブが休会中。会員数も減少傾向。高齢化率が上昇する中で、高齢者の社会や地域での活躍が重要。</p>
------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
シルバー人材センター-会員数			人	381	367	398	450		丹波市843人(H22.4.1)
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
老人クラブ会員数			人	7837	7,497	7,362	8,400		

総合評価	施策の達成度	-	高年齢者就業機会確保事業、車いすマラソン、老人クラブ等の現状の課題を整理し、相手方と十分調整を行った上で、改善・改革を行う。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	123	評価担当課名:地域福祉課	関連部局:福祉総務課、医療保険課、市民課(支所)	後期基本計画掲載 P.11
----	-----	--------------	--------------------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	2. すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。		

施策名	高齢者福祉の充実
-----	----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>介護予防の推進、外出や給食など日常生活を支援する取り組みを展開し、さらに高齢者虐待・権利擁護・要介護者台帳の整備など、地域で生活が継続できる体制づくりを進める。また、介護保険事業の運営については、給付の適正化を図り健全な事業運営を目指す。高齢者が生きがいを持って生活できるよう、より質の高いサービスが提供できる制度の導入を検討する。</p>
---	---

施策の実施状況と課題	<p>高齢者の虐待、権利擁護については、市民にアンケートを実施し専門相談や検討委員会を開催している。総合的な支援をめざし相談窓口を設置し、支援体制の充実を図ることが課題である。</p> <p>要介護者台帳の整備についても更新を行い推進している。今後も互助、共助の考えから、地域見守り体制の整備など地域づくりの推進が必要である。</p> <p>外出支援サービス年間登録者については、要綱等の見直しにより登録者数、利用回数とも減少しているが、NPO法人等の送迎サービスの新規参入を期待するとともに、委託事業の見直し、民間事業者への移行を進めていくことが課題となる。</p> <p>篠山デイサービスセンター及び今田老人福祉センターについては、指定管理者制度から施設譲渡に移行し、西紀老人福祉センターは、10年間の指定管理でそれぞれ選定を行った。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
外出支援サービス年間登録者	福祉車両を利用した送迎サービス	人	124	199	142	150		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
介護予防事業年間参加人数	筋力トレーニング、口腔ケア	人	31	158	169	360		

総合評価	施策の達成度	-	介護サービスの充実に向け、外出支援など、必要なサービスを民間事業者へ移行させていく。また、社会福祉協議会との役割分担を明確にし、各事業を展開していく。
	構成事業の妥当性	× <small>抜本的見直し必要</small>	
	施策の方向性	➡ <small>これまで通り力を入れる</small>	



施策	124	評価担当課名:地域福祉課	関連部局:医療保険課、福祉総務課	後期基本計画掲載 P.12
----	-----	--------------	------------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	2. すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。		

施策名	対象者別福祉の充実
-----	-----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>国における介護保険への一元化の検討結果を考慮しつつ、障害者福祉の計画的・総合的な推進を図る。</p> <p>相談・指導体制の強化、各種啓発活動や障害者間及び健常者との交流、在宅サービスの充実などを推進するとともに、授産施設や小規模作業所、職業訓練校の充実、移動手段・送迎サービスの充実、まち全体のバリアフリー化、ガイドヘルプ制度の充実、居住・入居施設などを促進する。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>障がい者に対する施策については、障害者福祉サービスの整備推進等により、在宅サービスの充実・まちのバリアフリー等に対し一定の成果が上がった。又、地域の中で、障がい者等がいきいきと在宅生活が送れるよう地域づくりを推進しなければならない。</p> <p>就労支援については、取り組むべき課題があるが、平成22年度より市役所内において、知的障害者・精神障害者の就労体験実習を実施している。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
障害福祉サービス実支給決定者数		人	-	313	311	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
重度認定者の施策サービス利用割合	介護保険施設入所者における介護度4・5の認定者の割合	%	35	56	54	増加		

総合評価	施策の達成度	-	<p>障がい者に対する施策について、障害者福祉サービスの整備推進等により、在宅サービスの充実やバリアフリー等に対し一定の効果が上がった。</p> <p>在宅福祉サービスの充実とともに地域活動支援センター等の地域の受け皿としての団体を支援するとともに職業訓練の場を確保し、就労の機会を増やす取り組みを行う。</p> <p>また、ひきこもり対策については、相談支援体制の確立を早期に構築していく。</p>
	構成事務事業の妥当性	× <small>抜本的見直し必要</small>	
	施策の方向性	↑ <small>これまで以上に力をいれる</small>	



施策	125	評価担当課名:こども未来課	関連部局:医療保険課、丹南児童館、福祉総務課	後期基本計画掲載 P.12
施策大綱大項目	健康福祉の充実		中項目	2.すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。			

施策名	子育て環境の向上
-----	----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	子育てしやすい環境を整えるため、子育てふれあいセンター・ファミリーサポートセンター・児童クラブの活動を充実。母子家庭の子育て・生活など総合的な支援を行う。就学前教育の充実を図るための幼保連携が密となる組織体制、施設整備の充実。
---	---

施策の実施状況と課題	<p>放課後児童対策事業については市内6カ所を設置し、待機児童に対応するため、施設の一部改修等を行いその解消に努めた。これからの課題として、指導員に必要な知識や技術の習得のために研修を行い、指導員の資質の向上を図ることが必要である。</p> <p>ファミリーサポートセンターは、平成21年度末で3会員あわせ249名であり、これに対する利用者も増加はしているものの、活動件数は487件となっている。現在、社会福祉協議会に2名の人件費算定で委託を行っているが、費用対効果については検証を進める必要がある。</p> <p>子育てふれあいセンターは、2箇所の拠点と2箇所のサテライトを開設。子育てを担う父母の交流・研修・相談の場として提供している。今後、育児を行う親の教育力の向上に向けた更なる取り組みが重要となるとともに、相談を受けた場合の他の関係課との情報共有化や連携の更なる充実が重要である。</p> <p>要保護児童対策地域協議会では、近年社会問題となっている児童虐待防止活動として児童虐待防止チラシを市内全戸に配付し、児童虐待防止マニュアルの作成に取り組んだ。また、当協議会の構成の一つである発達障害支援連絡会議では、早期発見、療育体制の整備を念頭に毎月1回の会議を開催した。</p> <p>家庭児童相談室では、子育てふれあいセンターや健康課、学校と連携し、家庭や地域における子育て機能の低下や家庭内の養育不足が招く子育てに関する問題について対応した。今後にあっても要保護児童対策地域協議会と家庭児童相談室、また各関係機関の連携を密にし、児童虐待の早期発見、早期支援にあたることが急務である。</p>
------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
児童クラブ利用者数			人	-	214	211	-	-	
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	ファミリーサポートセンターの会員及び利用者は増加しており、また子育てふれあいセンターについても子育て相談・支援について関係機関との連携もできる体制ができ、成果があった。今後も各機関連携を取りながら進めていく。 児童虐待については、早期発見を促すため、地域住民・保育園・幼稚園・学校職員用としてチラシを作成し配布したことや、「児童虐待防止マニュアル」の作成に取り組んだ。今後各関係機関の連携を密にし、児童虐待の早期発見、早期支援に努める。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	126	評価担当課名:医療保険課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.12
施策大綱大項目	健康福祉の充実		中項目	2.すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。			

<b>施策名</b>	<b>国民年金の適切な運営推進</b>
------------	---------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	全ての国民で支えあう年金制度の正しい理解を促進し、20歳到達者への加入促進や他の公的年金からの加入漏れを防ぎ、完全適用を目指す。また、年金受給の指導など適正な受給を推進する。
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	国民年金の納付率(H20年度67.9%、H21年度66.8%)が年々減少し、申請免除率(H20年度28.9%、H21年度31.9%)は年々増加する傾向にある。 今後、国民年金加入者漏れを防ぎ、将来の生活の安定に繋がるよう市民の方に啓発を行う。
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
窓口相談者数	窓口における相談件数	人	-	4,365	2,598	2,500		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
免除申請者数	年金免除申請者数	人	-	1,777	1,901	2,000		

<b>総合評価</b>	施策の達成度	80%達成	引き続き市民への相談活動の充実を図るとともに、納付率の向上を図り、未加入者の減少を目指す。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	131	評価担当課名:公民館	関連部局:社会教育・文化財課、 スポーツセンター	後期基本計画掲載 P.15
----	-----	------------	-----------------------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	3. スポーツ・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	市民が心身ともに健康でいきいきと暮らし、市内外の人々の豊かな交流が営まれるよう、豊かな自然を活用し、多様なスポーツ・レクリエーションの場と機会の提供を図る。		

施策名	スポーツ施設の整備・充実
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>小中学校などの体育施設の開放については、スポーツと親しむ場を提供するため、地域の人々との協働での運営体制を検討し、安全性・利便性に留意して施設の整備・充実を進める。</p> <p>「篠山総合スポーツセンター」は、市民スポーツ活動の中核として積極的な活用を進めていくとともに、スポーツを通じた健康づくりなどの情報発信基地として、市内スポーツ施設と連携し、市民に様々な機会の提供を進める。「西紀運動公園」についても、スポーツ教室やイベントなどでの活用を推進する。</p> <p>また、公式野球場や陸上競技場の整備については、既存施設の活用も含めて検討する。</p>
---	---

施策の実施状況 と課題	<p>体育協会、体育振興会、各種スポーツ団体を中心に活用されているが、土日祝日に予約が集中しており、平日の利用促進をどう進めていくかが課題となっている。</p> <p>スポーツ施設は大半が無人であり、市内各所に点在していることから、管理面での集約が難しい。また、老朽化に伴い修繕等が必要な施設が増加している。</p> <p>篠山総合スポーツセンターについては、窓口対応や休日管理に携わる臨時職員を除けば、正規職員1名のみで運営・管理しており、イベントやスポーツ教室の実施など積極的な活用がなされているとはいえない。</p> <p>西紀運動公園については今年度で指定管理期間が終了し、その評価が問われる時期となっている。陸上競技場、野球場の整備については現時点での整備は難しい。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
学校施設年間利用者数	学校施設の利用者数	人	117,500	110,073	120,328	増加		利用件数886件
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
スポーツ施設年間利用件数	市スポーツ施設の年間利用件数	件	22,694	17,650	18,017	25,000		

総合評価	施策の達成度	-	スポーツ施設・設備とも老朽化しており、利用者の安全確保という面からも定期的な点検等を実施する。西紀運動公園については、今後も指定管理の方向で事業を進める。 篠山総合スポーツセンターを核とした市内スポーツ施設の積極的な活用方法について早期に検討を行い、実施に向けて取り組む。また、スポーツセンターの指定管理者制度導入について、積極的に検討を行う。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	132	評価担当課名:社会教育・文化財課	関連部局:公民館	後期基本計画掲載 P.15
----	-----	------------------	----------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	3. スポーツ・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	市民が心身ともに健康でいきいきと暮らし、市内外の人々の豊かな交流が営まれるよう、豊かな自然を活用し、多様なスポーツ・レクリエーションの場と機会の提供を図る。		

施策名	市民スポーツ活動の推進
-----	-------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>より多くの市民が、スポーツを通じた体力の向上や健康づくりを継続的に実施することを目標に、引き続きスポーツ・イベントや、市体育指導委員会、体育協会、体育振興会などの支援や指導を受けた気軽で多彩な研修や教室の開催などの取組みを進めるとともに、体育協会傘下の種目別団体の支援に努める。</p> <p>「スポーツクラブ21」は、誰もが参加しやすい体制を整え、クラブの安定的な活動の支援に努める。また、「のじぎく兵庫国体」を契機に、様々なスポーツにおいて競技レベルの向上に努める。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>市体育指導委員会、市体育協会及びスポーツクラブ21連絡協議会等社会体育関係団体への支援によって、各種スポーツ講習会やスポーツ大会を継続的に開催し、多くの市民の体力づくり及び健康づくりを支援することができた。また、社会体育関係団体の自主的な事業運営も、徐々にではあるができるようになってきている。スポーツクラブ21は平成12年の設置から10年を経過して、全てのクラブが自立した活動が展開できるようになっているが、一方で少子高齢化の進行及び運営補助金の枯渇といった影響により、会員の減少やクラブ活動の停滞といった課題が出てきている。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
スポーツクラブ21加入者数	スポーツクラブ21加入者数	人	3,773	2,565	2,640	2,640		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	<p>市民のスポーツなどへの取組みについては、体育指導委員会やスポーツクラブ21などへの支援によって一定の成果が得られた。</p> <p>一方、一部ではクラブ活動の停滞や会員の減少が見られ、今後体育振興会やまちづくり協議会等と連携し振興を図る。市体育協会と体育振興会の分離再編については、円滑に移行できるよう引き続き支援を行う。</p>
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	<p>これまで通り力を入れる</p> <p></p>	



施策	133	評価担当課名:観光課	関連部局:公民館	後期基本計画掲載 P.15
----	-----	------------	----------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	3. スポーツ・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	市民が心身ともに健康でいきいきと暮らし、市内外の人々の豊かな交流が営まれるよう、豊かな自然を活用し、多様なスポーツ・レクリエーションの場と機会の提供を図る。		

施策名	自然活用型レクリエーションの振興
-----	------------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	多紀連山登山道などの自然活用型レクリエーション施設を、市内外の人々のリフレッシュや交流の場とし、観光協会とボランティアグループと連携しながら、豊かな森の維持・向上と交流イベントを推進する。
--------------------------	--

施策の実施状況と課題	<p>丹波篠山山開きや多紀連山アルペンルート、白髪岳や金山などの登山イベントに対し補助金を交付し、市内外の方たちに登山を楽しんでいただいたとともに、地域による登山道整備や駐車場整備、都市農村交流を促進した。また、登山ルートごとの山歩きマップを作成するなど情報提供に努めた。</p> <p>課題としては、登山道整備やイベントの活動の中心となっている地域住民やボランティアスタッフが高齢化や担い手不足により、活動の継続が困難な状況である。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
自然・活用型レクリエーション施設年間利用者数	ささやまの森公園、丹波篠山深谷の森公園、ユートピアささやま、佐中キャンプ場	千人	-	213	237	225		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	丹波篠山山開きや多紀連山アルペンルートなどの登山イベントの開催については、地域主体で実施することができ、今後も市として支援を行っていく。 自然レクリエーション施設やレクリエーション実施主体が連携し、自然活用型の新たな観光ブームに対応できる受入態勢の整備・充実を図る。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	141	評価担当課名:福祉総務課	関連部局:市民協働課	後期基本計画掲載 P.17
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	4. 市民活動の支援と人材の育成
中項目の基本方針	市民が互いに支え合い、助け合いながら、より良い地域社会を形成していくため、ボランティアや自治会主体の福祉活動を中心としたコミュニティ活動や市民活動を積極的に支援し、身近なコミュニティを単位とした福祉の拠点づくりと人材の育成に努める。		

施策名	ボランティア活動の支援
-----	-------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>福祉をはじめとした様々なボランティア団体への活動支援や組織化を進めるとともに、ボランティア体験教室などの一層の充実により多くの市民がボランティアに参画できるよう促す。</p> <p>また、団体のNPO法人格の取得を踏まえた提案を行うほか、団体間の交流、情報交換など連携強化を図る。</p>
---	---

施策の実施状況と課題	<p>地域ボランティアについては、高齢者及び障がい者への活動を中心に、任意の組織や地域の組織がある。しかしながら、地域柄かもしれないが、ボランティア組織がどんどん増えていく傾向ではない。</p> <p>更生保護女性会については、可能な範囲で自主自立の運営をされている。保護司については、市の関与が大きい。丹波市においては、保護司中心の運営に移行している。</p> <p>今後の関与量についての検討が必要。</p>
------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
助成対象のボランティア 団体数			団体	-	47	45	-	-	
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	<p>福祉を中心としたボランティア団体への活動支援については社会福祉協議会へ要請し、ボランティアの育成を行う。また、地域ボランティアの拡充や連携の強化を進めていくために、まちづくり協議会を中心とした研修会を開催する。</p> <p>さらに、市民プラザの効果的な運営に向け取り組んでいく。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	<p>これまで通り力を入れる</p> <p></p>	



施策	142	評価担当課名:福祉総務課	関連部局:市民協働課	後期基本計画掲載 P.18
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	4. 市民活動の支援と人材の育成
中項目の基本方針	市民が互いに支え合い、助け合いながら、より良い地域社会を形成していくため、ボランティアや自治会主体の福祉活動を中心としたコミュニティ活動や市民活動を積極的に支援し、身近なコミュニティを単位とした福祉の拠点づくりと人材の育成に努める。		

施策名	地域福祉活動の推進
-----	-----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>市民がお互いに支え合い、助け合いながら、より身近な地域コミュニティ活動を行う為、その拠点となるコミュニティセンターや公民館について施設整備や運営支援を行う。</p> <p>また、「要介護者システム」については、一人暮らし高齢者や障害のある人、乳幼児のいる家庭などの福祉要支援者の情報を共有するなどにより、緊急時の対応力を強化します。</p> <p>「集落等福祉活動事業」については、高齢者などの孤立化を解消するなど、子どもから高齢者まで地域のふれ合い活動を進める。</p>
---	---

施策の実施状況と課題	<p>いきいきサロンの活動については、平成22年度までに40の集落で実施。6集落では継続実施ができていないが、その他の集落では、2ヵ年の支援後も、自己の資金で継続している。</p> <p>少子高齢化が進む中、高齢者の生きがいづくり、見守りに対する地域の役割はますます重要となっている。</p> <p>平成21年度末ですべての地区でまちづくり協議会が立ち上がり、今後地域コミュニティ・地域福祉に対し、地域住民の更なる参画が期待される。</p>
------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
小集落福祉事業実施自治会数			件	-	8	8	-	-	
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	まちづくり協議会の活動において、自主的な取り組みとともに、組織の中での人材育成と、サポート職員を中心とした市の支援や、社会福祉協議会との連携を行い、人づくり・地域づくりを進めていく。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	143	評価担当課名:福祉総務課	関連部局:生活課	後期基本計画掲載 P.18
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	4. 市民活動の支援と人材の育成
中項目の基本方針	市民が互いに支え合い、助け合いながら、より良い地域社会を形成していくため、ボランティアや自治会主体の福祉活動を中心としたコミュニティ活動や市民活動を積極的に支援し、身近なコミュニティを単位とした福祉の拠点づくりと人材の育成に努める。		

施策名	人材の育成
-----	-------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>地域福祉の人材を育成するため、養成講座等の開催などにより、地域福祉活動などに必要な技能や専門知識を有する人材を確保し、市民を対象とした講演会や情報発信を通じた意識の高揚を図るとともに、団体間の交流活動や情報交換の機会を増やす。さらにより効果的な福祉活動を展開するため、人材や団体を集約し一括して登録するなど、情報を広く発信する。また、市民活動を支える地域リーダーの育成について、市民と一体に展開できるよう体制の検討を行う。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>高齢化が進んでいく中で、支援が必要な高齢者に対する地域ボランティアを育成するため、介護予防サポーターや認知症サポーターを養成し、地域活動での主体や支援者として地域で活動を行っている。</p> <p>また、社会福祉協議会においては、市が人件費補助を行い、14名の職員が地域福祉の推進役として活動している。</p> <p>しかしながら、なかなか主体となって活動ができていないのが現状である。今後、社会福祉協議会自らが積極的に地域にかかわっていくことが課題であると考えられる。</p>
------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	改善が必要	<p>介護サポーターや認知サポーターを養成し、地域活動での主体や支援者として地域で活動を行った。また、社会福祉協議会については、市が補助を行い地域福祉の推進役として活動している。</p> <p>地域福祉をますます進めていく中で、更に社会福祉協議会との連携を強化し、地域が主体となった地域福祉を進めていく。</p>
	構成事務事業の妥当性			
	施策の方向性	<p>これまで通り力を入れる</p> 		



施策	211	評価担当課名:地域整備課	関連部局:地域計画課	後期基本計画掲載 P.20
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	1.計画的な住宅整備
中項目の基本方針	いつまでもすみ続けられる安心のまちづくり、美しいまちなみづくり、豊かな地域づくり、良質な住宅づくりをめざし、篠山らしい住環境の整備と既存ストックの活用 に努める。		

施策名	篠山らしい住環境整備の推進
-----	---------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>分散型の住環境の維持・向上に配慮し、人口定着を図るため、自然・歴史・田園に調和した住宅整備の推進を図る。また、住環境の維持・向上に向けた協定締結を支援する。</p> <p>生活基盤の整った住宅開発の計画的な誘導を図るとともに、多様なライフスタイルに対応した住宅の供給を促進し、「丹波の森構想」の理念に基づき、篠山らしいライフスタイルを支える住宅の整備を促進する。</p>
---	--

施策の実施状況 と課題	<p>自然・歴史・田園に調和した住宅整備の推進を図っていく観点から、「篠山市緑豊かな里づくり条例」に基づく里づくり計画地区内において、地区住民自らが策定を行った計画(地域内ルール)により建築行為の誘導を図ってきた。しかしながら、策定地区数の増加がほぼ横ばい(H20:1地区)であることにより、建築件数についても大きな増加は見られない。また、後期計画期間中(H18年度からH22年度見込み)の建築協定締結は実績はなく、県緑条例に基づく緑化実現を図る環境形成協定数は500平方メートル以上の開発が対象であり、同期間中の実績は累計で49件となっており、さらに市まちづくり協定及び都市計画の開発事案に対する安全かつ良好な宅盤形成を図る目的のまちづくり協定件数は同期間中に108件の市と開発事業者の締結実績となっている。</p> <p>今後、より一層、篠山の各地域特性に合った住環境の創造を図るため、篠山らしいライフスタイルを明確化し、景観計画等の関連施策と連携がとれるよう住生活基本計画を見直す。</p> <p>なお、平成22年度で計画期間を終了する現在の住生活基本計画(住宅マスタープラン)は、直近の住宅事情を反映した「ひょうご住まいの統計」等を基礎資料としているが、同統計が平成22年中に更新されるとのことから、平成23年度以降に見直しを実施する。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
篠山市豊かな里づくり条例に基づく 計画整備地区内での住宅建築件数	計画整備地区内での戸建住宅建築数	件	12	2	8	増加	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	<p>「篠山市緑豊かな里づくり条例」に基づき、地域住民自らが策定を行った計画により建築行為の誘導を図ってきたが、策定地区数の増加が横ばいであり、件数に大きな増加は見られない。</p> <p>篠山に相応しい住環境整備には、社会情勢の変化や、現在、見直し中又は策定中のまちづくり条例や景観計画など関連施策と連携を図った住生活基本計画(旧住宅マスタープラン)の策定を平成23年度中に行う。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	<p>↑</p> <p>これまで以上に力をいれる</p>	



施策	212	評価担当課名:地域整備課	関連部局:企画課	後期基本計画掲載 P.20
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	1.計画的な住宅整備
中項目の基本方針	いつまでもすみ続けられる安心のまちづくり、美しいまちなみづくり、豊かな地域づくり、良質な住宅づくりをめざし、篠山らしい住環境の整備と既存ストックの活用に努める。		

<b>施策名</b>	<b>既存ストックの活用</b>
------------	------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	民間住宅では、バリアフリー化の改修を促進するとともに、空き家・空き地情報を収集・発信し、空き家の有効利用や、伝統的な民家をストック資産として活用することで、人口の増大を図る。 公営住宅については、老朽住宅の建替や用途廃止、新設住宅による代替など検討しつつ、多様なニーズへの対応と維持・管理コストの削減に重点をおく事業を行う。また、「ストック総合活用計画」に基づき、防水改修や設備の改善とともに、高齢者や障害者のニーズに配慮した改修を進める。
---	---

施策の実施状況と課題	民間住宅については、「人生80年いきいき住宅助成事業」によりバリアフリー化を促進、また、市内の空き家・空き地についての現状調査を実施し、既存ストックの有効活用に向けた整理を行った。 公営住宅については、「ストック活用計画(計画期限:H22年度)」に基づき、耐震化・外壁改修等の計画的な整備・改修を実施した。 用途廃止指定8住宅以外の団地については、今後策定する長寿命化計画に基づき、計画的な住戸の整備を行う必要がある。
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
公営住宅共用階段の未設置手すり箇所	手すり未設置箇所解消	箇所	106	0	0	0		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市営住宅戸数	管理住戸の戸数	戸	537	548	548	557		

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-
	構成事務事業の妥当性	改善が必要
	施策の方向性	これまで以上に力をいれる
		
平成13年度からの市住宅マスタープラン及び同期間のストック活用計画により市営住宅の用途廃止への取組みと計画的な修繕事業を実施した。 計画期間終了に伴い、新たなストック活用計画の策定に合わせ、長寿命化計画を定めて市営住宅の計画的な個別改善と整備活用を行う。また、次期住生活基本計画では市営住宅以外の既存ストック活用についても検討を行う。		



施策	221	評価担当課名:地域整備課	関連部局:市民課、農林課	後期基本計画掲載 P.24
----	-----	--------------	--------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	2.自然環境の保全と活用
中項目の基本方針	自然と調和した豊かな農地、公益的機能を重視した森林の適正管理、多様な生き物の保全と復元、水と物質循環の促進に向けて、自然災害の被害の防止に努めつつ、自然環境や生態系の保全・維持管理・活用を推進する。		

施策名	自然公園の保全と活用の推進
-----	---------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>「丹波の森構想」に沿って、山林の持つ水源涵養、環境保全、災害防止などの公益的機能を維持しつつ、山林の保健・観光レクリエーション資源としての活用を推進します。</p> <p>このため、3つの自然公園地域については、来訪者間のふれあいや環境学習の場としての整備を推進し、市内外の多くの人々の利用促進に努める。また、各公園の利用や事業を推進するとともに、ボランティアを活用した維持管理手法の導入を図る。</p>
---	---

施策の実施状況と課題	公園施設の経年劣化等に対し、安全性の確保に資するため、確実な定期点検と計画的な修繕が必要である。
------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
丹波篠山溪谷の森公園利用者数			人	28,110	19,760	20,805	-	-	
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
ささやまの森公園ボランティア登録者数			人	81	76	78	80		県内ふるさとの森公園ボランティア登録総数 425人/H21 平均登録数 70.8人/公園

総合評価	施策の達成度	-	計画通り進める	<p>公園施設の定期的な点検・修繕等により維持管理に努める。</p> <p>自然公園の活用面においては、地域の協力により篠山らしい自然公園として市内外からの利用者がある。今後とも各イベントや運営面で関係団体や地域の協力により発展的な継続を行う。</p>
	構成事務事業の妥当性			
	施策の方向性	<p>これまで通り力を入れる</p> <p></p>		



施策	222	評価担当課名:地域整備課	関連部局:農林課	後期基本計画掲載 P.24
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	2.自然環境の保全と活用
中項目の基本方針	自然と調和した豊かな農地、公益的機能を重視した森林の適正管理、多様な生き物の保全と復元、水と物質循環の促進に向けて、自然災害の被害の防止に努めつつ、自然環境や生態系の保全・維持管理・活用を推進する。		

<b>施策名</b>	<b>治山・治水事業の推進</b>
------------	-------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	災害のない安全なまちづくりを進めるため、自然環境に配慮した危険ため池の解消、未改修河川の改修を進める。 八幡谷ダム周辺においては、「ささやまの森公園」を活用するとともに土留工・谷止工の設置や、下流地域のニーズに対応した、渓流を整備しての治山・治水事業の推進を図ります。川代渓谷では、渓谷美を保全するとともに、水と緑とのふれあい拠点の形成に努める。また、整備の完了した篠山川や武庫川を、地域の”シンボルリバー”と位置づけ、適切な維持・管理に努める。
---	--

施策の実施状況 と課題	森林整備を進めるとともに、危険ため池の解消については地元関係者との調整により随時改修工事を行い危険箇所の減少を図っている、河川並びに渓流については治水・利水・環境に配慮した整備が求められているが、県管理の一級・二級河川については未改修区間の改修を行っており、市管理の普通河川等については市内全域の改修計画も無いため小規模な改修工事の実施及び多自然型護岸の災害復旧等により整備を行っている状況である。
----------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -	-	森林整備を進め、また危険ため池は関係者との調整により随時改修工事を行っている。河川も部分改修工事や災害復旧等により整備を行っている。今後も治山・治水事業等環境整備を実施していくうえで、自然環境に調和し、市民が親しめる安心・安全な河川環境を整備していく。
	構成事務事業の妥当性 計画通り進める		
	施策の方向性 ➡ これまで通り力を入れる		



施策	223	評価担当課名:農林課	関連部局:環境課	後期基本計画掲載 P.25
----	-----	------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	2.自然環境の保全と活用
中項目の基本方針	自然と調和した豊かな農地、公益的機能を重視した森林の適正管理、多様な生き物の保全と復元、水と物質循環の促進に向けて、自然災害の被害の防止に努めつつ、自然環境や生態系の保全・維持管理・活用を推進する。		

<b>施策名</b>	<b>自然と共生した生活環境の形成</b>
------------	-----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	自然環境の多面的機能の保全・活用を図り、特徴的景観を保全するとともにビオトープの整備やその活用により地域の自然体系のネットワークを発展させるなど、自然環境の保全に努める。 また、丹波並木道中央公園などの事業推進を図るほか、小学校区ごとの里山整備を計画的に推進する。さらに、地域で自然環境を活用した快適な暮らしが出来るよう配慮し、地域で管理・運営しやすい施設整備に努める。
---	--

施策の実施状況 と課題	生態系の維持に大きな影響を持つ里山整備を実施してきたが、整備規模は小規模に留まっている。(里山防災林整備事業) 農地や山林の防災や自然涵養、動植物の生態維持、景観形成などの多面的機能を維持するためには適切な管理と維持が必要となり、「森林管理100%作戦」で計画的実施するとともに、企業の森事業などによる市民参加型にも取り組んでいる。 しかし、地域の人口減少などにより農地・山林の利用は低下しつつあり、その結果機能を発揮できなくなる農地・山林が発生している。
----------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
里山整備箇所数(累計)	ふれあいと学びの森整備モデル事業(～H19)		箇所	4	4	4	13		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -		里山防災林整備事業により里山整備の実施を行ってきたが、整備規模は小規模に留まっている状態である。 自然環境を保全・活用する市民団体との連携を行い、今後も、市内の既存生態系の保護に加え、クリンソウ群などの特徴的な景観の保全保護や里山整備に努める。
	構成事務事業の妥当性 計画通り進める		
	施策の方向性 ↑ これまで以上に力をいれる		



施策	231	評価担当課名: 景観室	関連部局: 農林課、市民協働課	後期基本計画掲載 P.27
----	-----	-------------	-----------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	3. 景観形成の促進
中項目の基本方針	篠山らしい自然・田園景観、歴史・文化景観を、市民と行政の協働による景観づくりなどにより維持・向上させるとともに、個性豊かなまちづくりを計画的に進めるため、市民が親しみと愛着を感じるような都市景観の形成を推進する。		

<b>施策名</b>	<b>自然・田園景観の維持・向上</b>
------------	----------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>豊かな自然景観が調和した田園景観の維持・向上のため、土地利用や開発協議等に当たっても面的な農用地の保全に努めると共に農地の流動化を高める。農地管理では、地域資源としての多面的利用の促進や農地管理に対する支援措置を行う。</p> <p>また、市民参画・協働による自然・田園景観の維持向上を図り、地域ぐるみの保全活動の推進を検討する。河川公園の維持管理は現状を維持し、市民と行政との協働による景観形成の場と機会の増加を図る。</p>
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>少子高齢化の進行により農地の保全や集落機能の維持についての懸念が多く、集落にあり、中山間直接支払い制度や農地・水・環境保全対策事業等の施策、また平成22年度は約400万円の単費により農地の流動化を推進するなどの施策を講じている。また市民農園はハートピア農園、大山の里農園いずれも都市住民を中心に好評である。さらに集落営農組合等により地域ぐるみで農業作業の共同化や都市住民や団体との定期的な農を通じた交流が各所で見受けられる。また、本市の自然及び田園景観の維持、向上にとって市民共有の基準が必要であり、新たな開発における建築物等の一定の規制誘導を図るため、景観法に則り、市景観条例及び景観計画を市民協働により策定し、平成23年度4月からの施行を目指す。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
農地の流動化率			%	11	20	21	30		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	<p>農地の多面的な活用に努め、計画的な農地の活用を推進していく。特に好評な市民農園については、長期営農や定住に結びつく施策を検討整備していく。</p> <p>また田園景観を保全継承するため、田園からの眺望景観に配慮した建築物や工作物等の修景整備を推進する。</p> <p>農地の保全管理や有害鳥獣害駆除対策については、今後も継続的な実施を行っていく。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	



施策	232	評価担当課名: 景観室	関連部局: 社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.27
----	-----	-------------	-----------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	3. 景観形成の促進
中項目の基本方針	篠山らしい自然・田園景観、歴史・文化景観を、市民と行政の協働による景観づくりなどにより維持・向上させるとともに、個性豊かなまちづくりを計画的に進めるため、市民が親しみと愛着を感じるような都市景観の形成を推進する。		

<b>施策名</b>	<b>歴史・文化景観の維持・向上</b>
------------	----------------------

**施策の内容**  
(後期基本計画記載事項の要約)

篠山城下町地区では、歴史的な街なみ景観保全・修景を図り、建築物などの修理・修景及び防災対策を進める。  
 福住、古市、立杭地区について歴史的景観形成を図るべき地域の景観形成地区指定を目指す。  
 市域全体においては、県の「緑条例」のゾーニングにもとづき、地域住民と協働しながら、歴史的な街なみや文化的な資源を活用した歴史的情緒のある落ち着いた景観の形成を図る。

**施策の実施状況と課題**

・伝建地区の修理修景や防災対策と共に県条例に基づき城下町の歴史的な街並みの保全修景を推進している。民間でも町なみの保全を目的にNPOがボランティアで伝統的な古民家や町家を改修したギャラリー等がオープンするなど、市民への歴史的な町なみ保全・修景の協理理解が広がっている。一方市民センターや篠山医療センターの建設に伴い北側に市街化拡大しており、旧城下町との調和が課題となっている。  
 ・福住地区においても伝建指定に向けた調査を実施し、地元との協議が進められている。また上立杭地区において県の景観形成条例による歴史的な景観形成地区の指定が行なわれた。今後修理修景を通してその地区の建築意匠の詳細及び工法等を明確化し実態あるものにしていく必要がある。

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
道路美装化(累計)	城下町と調和した道路景観の形成	m	-	67	167	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
修理・修景事業	城下町における修理・修景件数	件	-	13	8	-	-	

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	歴史文化景観については、歴史文化基本構想と連携しながら景観形成を推進する。歴史的町並みの修景整備については、県条例から市景観条例に移行し運用するとともに、伝建地区ではこれまでの成果を活かし一層修理修景や防災対策を推進する。 また、NPOやボランティア等による古民家再生や町並み保全の取り組みなど、多様な主体による保全・修景活動が幅広く見られるようになり、今後も様々な主体の連携・協働による町並みの保全活動を積極的に進めていく。
	構成事務事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	233	評価担当課名: 景観室	関連部局: 地域整備課	後期基本計画掲載 P.27
----	-----	-------------	-------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	3. 景観形成の促進
中項目の基本方針	篠山らしい自然・田園景観、歴史・文化景観を、市民と行政の協働による景観づくりなどにより維持・向上させるとともに、個性豊かなまちづくりを計画的に進めるため、市民が親しみと愛着を感じるような都市景観の形成を推進する。		

<b>施策名</b>	<b>都市景観の形成</b>
------------	----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	デカンショ街道や丹波の森街道周辺では、看板、照明などの沿道景観整備・誘導に努める。 JR駅前及び市街地では、自然・田園景観や歴史・文化景観など、周辺環境と調和した新しい都市空間の創出を図る。また、JR駅周辺の放置自転車防止条例の制定を検討する。
---	---

施策の実施状況 と課題	国道両側の景観保持については県屋外広告物条例で一定規模以上の広告物は許可申請が必要であり、特に禁止広告物の設置は見られない。またインターチェンジ周辺の広告物については県景観形成条例で沿道景観形成地区の指定を平成20年7月に受け、デザインを始め内容について独自基準が設けられた。駅周辺は用途地域及び一部は地区計画決定をしており都市的美観誘導に努めている。城下町周辺地区は県景観形成条例の景観形成地区及び河原町、城周辺区域に国の伝統的建造物群等保存地区に指定がされ、いずれの場所においても条例等で歴史的景観等の保持がなされる。なお、駅前の放置自転車防止条例を平成19年10月から施行し、放置自転車について激減している状況である。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
道路照明の設置数		箇所	33	0	0	44		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
道路電線類地中化の整備延長(累計)	H17完成済	m	559	682	682	682		

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -		新しい市街地の駅周辺については、都市計画の用途区域が指定されており、計画的な市街地整備を推進する。区画整理区域では、市街地の形成が課題となっており、地区計画区域として駅前にふさわしい景観形成を推進する。屋外広告物については、県条例により美観誘導を図っていく。なお、今後は市条例による取り組みに向け検討を行う。
	構成事務事業の妥当性 計画通り進める		
	施策の方向性 ➡ これまで通り力を入れる		



施策	241	評価担当課名:環境課	関連部局:清掃センター、学校教育課	後期基本計画掲載 P.31
----	-----	------------	-------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	4.身近な環境の保全
中項目の基本方針	自然環境と調和した持続可能なまちづくりに向けて、環境保全意識をさらに向上させるとともに、ごみ処理対策やリサイクルを充実し、市民活動を支援しつつ、総合的な環境保全策の推進を図る。		

施策名	環境保全意識の向上
-----	-----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	環境保全に対する市民・事業者・行政の意識の高揚をより一層図るため、環境教育の推進・各種講演会の開催・体験機会の充実などを進める。特に、小中学生を対象とした水生生物調査などの水辺での学習、ごみの分別、リサイクルについて講師派遣などの環境教育の充実を図る。また、市民の環境保全活動を支援し、指導者の育成や各団体との連携を進め、広範な環境保全活動の展開に努める。
---	--

施策の実施状況 と課題	篠山市保健衛生推進協議会の総会・研修会などを通じて、ごみの分別や循環型社会構築に向けての啓発活動を行うとともに、自治会毎の分別説明会なども催し、資源化率の向上に努めている。 また、小学生と保護者が同時に環境について学ぶ「環境防災みらい学校」を開催して自然やリサイクルに関する学習機会の創出に努めている。 しかし、行動に移すことができていない現状であるので、今後も継続して学習機会を増やしていく必要がある。
----------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
環境学習年間実施回数	小中学校における環境学習の年間実施回数		回	3	3	3	増加		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
清掃センター見学者数	施設年間見学者数		人	-	974	957	-	-	

総合評価	施策の達成度 -	-	「環境防災みらい学校」を開催し、環境保全の大切さと環境悪化がもたらす防災対策上の問題点を、子供達に分かりやすい形で学んでもらっている。 また、子どもだけでなく、市民・事業者の環境保全意識の高揚を図るためには、継続的な啓発・教育が不可欠であり、指導者の育成や各団体との連携を進め、広範な環境保全活動の展開に努める。
	構成事務事業の妥当性 計画通り進める		
	施策の方向性 ↑ これまで以上に力をいれる		



施策	242	評価担当課名:環境課	関連部局:市営斎場、清掃センター	後期基本計画掲載 P.31
----	-----	------------	------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	4.身近な環境の保全
中項目の基本方針	自然環境と調和した持続可能なまちづくりに向けて、環境保全意識をさらに向上させるとともに、ごみ処理対策やリサイクルを充実し、市民活動を支援しつつ、総合的な環境保全策の推進を図る。		

<b>施策名</b>	<b>総合的な環境保全施策の推進</b>
------------	----------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>子どもや孫世代も良好な環境のなかで暮らしていけるような様々な環境問題に取り組むべく、日常生活におけるごみの減量化・資源化の推進や農業における減農薬への取り組みなど身近な環境の保全から、国土・文化・自然まで含めた本市の環境のあり方を示し、環境保全を計画的かつ体系的に進めるため、「環境基本計画」を策定し、市民・事業者との連携・協力のもとで同計画を推進していく。また、環境への影響を考え、自然エネルギーの活用や天然ガスの利用を促進する。</p>
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>本市の環境保全施策を総合的・体系的に推進していくため、21年度に「篠山市環境基本条例」を制定、また「篠山市環境基本計画～源流のまち篠山～」を策定した。自然・農業・生活など様々な視点から基本条例に掲げる理念や計画に掲げる将来像の実現に向けて実行に移していくうえで、行政だけでなく、いかに市民と協働できるかということが今後の課題となっている。</p> <p>また、自然エネルギーの活用に関して、市域の約7割を占める森林の適正な管理も含めて樹木の有効利用を図るため、森林バイオマスプロジェクトチームにより木質バイオマスの研究を進めている。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
篠山市関係機関における温室効果ガス排出量	市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量を集計し、低減を図る。	kg/CO2	12,812,816	21,978,511	20,736,516	-		第2次計画において目標数値変更(23,046,823)
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
生物化学的酸素要求量(BOD) (篠山川京口橋付近)	河川の有機物質汚濁を測る指標	mg/L	0.8	1.0	-	0.5未満		21年度は県データ集計中

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	<p>平成21年度に「篠山市環境基本条例」を制定し、また「篠山市環境基本計画」の策定を行った。また、自然エネルギーの活用に関して、樹木の有効利用を図るため、木質バイオマスの研究を進めている。</p> <p>今後は、「篠山環境みらい会議」を設立するなど、計画の実行に向けて取り組む。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	 これまで通り力を入れる	



施策	243	評価担当課名:清掃センター	関連部局:環境課	後期基本計画掲載 P.31
----	-----	---------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	4.身近な環境の保全
中項目の基本方針	自然環境と調和した持続可能なまちづくりに向けて、環境保全意識をさらに向上させるとともに、ごみ処理対策やリサイクルを充実し、市民活動を支援しつつ、総合的な環境保全策の推進を図る。		

施策名	<b>ごみ処理・リサイクルの推進</b>
-----	----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	環境保全の観点から、ごみの減量化や分別の徹底、リサイクルの推進、集団回収の推進を図るため、広報や小中学生、団体などの施設見学時の学習による啓発活動を行う。「容器包装リサイクル法」にもとづく分別収集品目を増やし、廃棄物の資源化に努める。 ごみ処理施設の施設整備は、ストックヤードを設置し、業務の円滑化を図る。
---	--

施策の実施状況 と課題	環境負荷が低減される循環型社会への転換に向けて、3R(発生の抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再生(リサイクル))の推進には、篠山市保健衛生推進協議会の総会等や各自治会での環境学習会の機会等で啓発活動を実施しており、また、小学生や老人会等各種団体の施設見学時にも篠山市のごみの現状と3Rについて啓発活動を実施しているが、いずれも一握りの状況である。 また、資源ごみの拠点回収により、ストックヤードの増設置が今後の課題である。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	現状	類似他団体比較等
ごみ処理量	センターへの年間ごみ搬入処理量	t	-	19,213	17,971	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
リサイクル率	缶・ビン・ペットボトル等の資源化	%	10.0	7.3	6.2	12.0		

総合評価	施策の達成度 -	-	市のごみの現状を市民や事業者に対し広報し、ごみの減量化や資源循環の啓発活動を推進する。 次年度より、資源ごみの拠点回収所を設置し、定期的な資源ごみの回収を行い、リサイクルの推進を図る。
	構成事務事業の妥当性 計画通り進める		
	施策の方向性 ↑ これまで以上に力をいれる		



施策	251	評価担当課名:総務課	関連部局:消防署、予防課、警防課、管理課	後期基本計画掲載 P.34
----	-----	------------	----------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	5.防災体制の強化
中項目の基本方針	あらゆる災害から生命、財産を守るための防災対策や、災害を最小限に抑える減災対策を進め、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する。		

施策名	防災意識の高揚
-----	---------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>市広報紙やホームページの積極的な活用をはじめ、社会教育、学校教育、福祉活動などあらゆる機会を通じて日頃からの防災意識の高揚を図る。</p> <p>また、継続的な防火訓練の実施は、市民、防災関係機関などの防災意識と行動力・技術の向上のために有効であることから、より多くの市民、関係団体が参加できるように訓練内容の一層の充実を図る。</p>
---	---

施策の実施状況と課題	<p>あらゆる機会を通じて、防災意識の高揚を図った。具体的には、市の広報紙での意識啓発、防災訓練での防災学習会、いのちを守る防災マップづくり支援事業などを通して、意識の啓発を図った。平成21年6月7日開催の防災訓練では、篠山警察署、自衛隊青野原駐屯地、篠山市消防本部、消防団第2分団の協力を得て、大芋小学校で同地区の住民約250人を対象に消防団員の誘導による避難、救出救助訓練、防災学習会、自衛隊の炊き出しによるカレーの試食等を行った。近年、豪雨等による災害が各地で起きており、外的要因も含めて、市民の防災意識は高まっている。</p> <p>今後は、この防災意識が、物資の備蓄などの行動に影響を与えるように取り組んでいくことが求められる。</p>
------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
住宅火災警報器設置率			%	-	34	39	50		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
防災ネットの登録者数			人	862	1,057	1,246	1,300		他市の状況は公開されていません。

総合評価	施策の達成度	-	庁内での防災訓練は実施しており、職員の参集率も向上している。また、広報での啓発活動や防災マップの作成事業も実施している。 近年、市民の防災意識は高まってきており、今後より防火意識を高める有効な事業に取り組む。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	252	評価担当課名:消防署	関連部局:総務課、市民課(支所)、生活課、 警防課、管理課	後期基本計画掲載 P.34
----	-----	------------	----------------------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	5.防災体制の強化
中項目の基本方針	あらゆる災害から生命、財産を守るための防災対策や、災害を最小限に抑える減災対策を進め、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する。		

<b>施策名</b>	<b>防災基盤の整備・充実</b>
------------	-------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	常備消防(消防本部)、非常備消防(消防団)の連携を図り、車両・機械器具等消防資機材の整備充実、避難場所・避難地などの装備の充実、地震や風水害などの自然災害による道路、河川などの危険箇所の点検や防災工事の推進を図る。 防災活動が円滑に行えるよう装備を充実するとともに防災意識の高揚を図る。また新しい情報連絡による伝達手段の多重化を図る。土砂災害防止工事などのハード対策と合わせて、警戒避難体制などのソフト対策を充実させる。
---	---

施策の実施状況と課題	防災基盤の整備充実に向け、防災・常備・非常備ともに計画的に取り組んできたところであるが、今後も防災、減災のためハード(危険箇所の工事、消防・防災施設整備等)、ソフト(防火・防災意識の高揚、危険箇所の把握等)両面で取り組んでいかなければならない。
------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
救急救命士養成職員			人	-	1	1	1		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
救急現場到着時間	括弧内は出庫～到着時間		分	8.6	10.1 (7.9)	9.8 (7.6)	6分台		

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -	-	3出張所の開設、ヘリポートの整備、救急業務の高度化等計画的な推進により防災体制の強化を図った。 また、危険箇所の防災工事の推進を図り、消防施設や救急業務の高度化を推進するなど、市民の安心・安全にかかる重要度の高いものから今後取り組んでいく。 住民の防災意識の高揚については、より一層の強化を図る。
	構成事務事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性 	これまで通り力を入れる	



施策	253	評価担当課名:総務課	関連部局:地域福祉課	後期基本計画掲載 P.34
----	-----	------------	------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	5.防災体制の強化
中項目の基本方針	あらゆる災害から生命、財産を守るための防災対策や、災害を最小限に抑える減災対策を進め、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する。		

<b>施策名</b>	<b>災害に強いコミュニティの形成</b>
------------	-----------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	地域における自助・共助の体制強化を図る。地域コミュニティによる自主的な災害時要援護者の把握、支援方法を定めるほか、災害時の連絡体制の確立、防災訓練の実施などを積極的に推進し、それぞれの地域に応じた防災力の向上を図る。 また、自主防災組織の活性化や防災資機材の充実を図る。
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	いのちを守る防災マップづくり支援事業において、自治会の団結が必要である事を説いており、平成21年度はこのワークショップを16自治会で実施した。実施自治会においては、災害に強いまちを作ろうという機運が高まっている。今後も、このワークショップを通じて、災害に強いコミュニティの形成に寄与していく。 要援護者に対しては、以前は一人暮らし高齢者名簿を民生委員によって作成し、平成19年度からは、自治会長・民生委員の協力を得て、手上げ方式によるよう援護者台帳の作成を行う。現時点で、4,364人の登録を行っている。
-------------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
自主防災組織の組織率			%	-	100	100	-	-	
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
自主防災組織における防火訓練の実施数			回	0	6	6	6		

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	市民の防災意識は非常に高まってきており、実施自治体では災害対応についての気運が高まっている。自助・共助が地域コミュニティの基盤を強化するため、今後も全自治会において防災マップづくりが出来るよう継続した支援を行う。 また災害発生時に要援護者をどのように支援していくかといった、支援が必要な要援護者の把握や支援区分の振り分けなどを今後実施する。
	構成事務事業の妥当性	-	
	施策の方向性	-	
	計画通り進める  これまで通り力を入れる 	-	



施策	254	評価担当課名:総務課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.34
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	5.防災体制の強化
中項目の基本方針	あらゆる災害から生命、財産を守るための防災対策や、災害を最小限に抑える減災対策を進め、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する。		

<b>施策名</b>	<b>突発的な災害に対する危機管理体制の確立</b>
------------	----------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	自然災害以外の突発的な災害や事故にも迅速に対応できるよう、これまでの経験を検証しながら、「地域防災計画」に基づき関係機関とも連携し、的確に対応する能力や技術の向上を図る。
---	---

施策の実施状況 と課題	庁内の危機管理体制は、毎年見直しを行っており、招集訓練などでその実施体制の確認も行っている。平成21年度は係長以上の職員を対象に南海地震を想定した早朝招集訓練を実施し、1時間後には82.6%の招集率となり、職員の危機管理意識が高く保持されている。また、外部機関との体制については、警察や自衛隊などの協力を得て防災訓練を実施しており、突発的な対応にも対応できる関係を構築している。今後も、積極的に外部機関との連携を図って行く。
----------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
職員非常招集訓練参集率	訓練開始2時間後の参集率		%	89	90	93	96		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -		危機管理体制は毎年度見直しを行い、また招集訓練などの実施により強い危機管理意識を保持している。職員が減少する中で、庁内の防災対応体制の確立とともに、関係機関との関係を築き突発的な災害に備える。 しかし限られた人数での防災体制の構築は困難であり、より実践的・機能的な庁内体制が求められている。関係機関と日常的に連携する意識を持つとともに、非常招集訓練などの質について検討する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性 	これまで通り力を入れる	



施策	261	評価担当課名:市民協働課	関連部局:管財契約課、市民課、公民館	後期基本計画掲載 P.36
----	-----	--------------	--------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	6.コミュニティづくりの推進
中項目の基本方針	地域の自主性の尊重や地域ごとの個性の発揮に向け、地域単位で活動する各種グループの相互交流や統合を促進し、それぞれのコミュニティにおける組織、意思決定力、行動力などの強化をめざす。		

<b>施策名</b>	<b>コミュニティ活動の支援</b>
------------	--------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>コミュニティ活動の情報交流の活性化や各種機関との連携強化、人権や防犯・環境保全などに関わる活動の一層の充実を促し、多彩な活動の展開を推進するとともに、コミュニティ施設等の改修などの支援を行う。</p>
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>各自治会における共通な状況として、人口の減少や少子高齢化が様々な活動において支障となっている。そこで、自治会単位のスケールとメリットを活かした、概ね小学校単位となる「地区」としての課題解決に向けた取り組みが必要となっている。現時点では、地域活動の見直しや新たな活動を行うためには、地区まちづくり協議会を設立しており、地域住民と各種団体等と連携により計画を展開している。</p> <p>また、拠点となる公民館施設の改修等、地域の活性化となる支援体制が必要である。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
コミュニティセンター年間 利用件数			人	5,695	5,707	6,221	増加		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	<p>自治体の人口減少などで活動が困難となっているため、自治会同士の協力体制や広域的な取り組みが必要となっており、今後も地区として課題解消ができるよう「地区まちづくり協議会」の設立支援を実施する。</p> <p>そして各自治会長会とも連携しながら、よりよい活動支援の方策を検討していく。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	<p>これまで通り力を入れる</p> <p style="text-align: center;"></p>	



施策	262	評価担当課名:生活課	関連部局:市民協働課、地域整備課、社文課	後期基本計画掲載 P.36
----	-----	------------	----------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	6.コミュニティづくりの推進
中項目の基本方針	地域の自主性の尊重や地域ごとの個性の発揮に向け、地域単位で活動する各種グループの相互交流や統合を促進し、それぞれのコミュニティにおける組織、意思決定力、行動力などの強化をめざす。		

<b>施策名</b>	<b>地域の実情に応じた生活環境整備の推進</b>
------------	---------------------------

<p><b>施策の内容</b> (後期基本計画記載事項の要約)</p>	<p>各コミュニティとの密接な連携のもとに、地域の自主性を尊重しつつ、地域の実情に応じ、防犯灯の設置や生活道路の補修などとともに、地域遺産・資源の保存、活用など、地域ごとの個性の強化につながる生活環境整備を推進する。</p>
---	--

<p><b>施策の実施状況と課題</b></p>	<p>少子高齢化や核家族化の進行等、生活環境の変化が進むなか、最も身近なコミュニティである自治会などが中心になり、それぞれ独自性のある住みよい村づくりが進められている。地域の実情に応じた生活道路の補修、防犯対策、そして、地域遺産や資源の保存を示す「集落カルテ」の作成など、生活環境整備による安全・安心対策事業を行う。尚、緊急性や危険度の高いところから進めることから、市民や自治会の理解が求められる。通学路の防犯灯設置については、関係各課で調整して進める必要がある。</p>
--------------------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
防犯灯設置数			基	-	19	60	40		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -	-	地域の実情に応じた生活道路などの環境整備が進められている。今後も引き続き安全で安心な生活環境づくりを行政と地域が一体となって展開していく。 防犯灯(街路灯)については、光害やランニングコストの関係もあるため、自治会などと十分調整・協議のうえ設置していく。
	構成事務事業の妥当性 計画通り進める		
	施策の方向性 ➡ これまで通り力を入れる		



施策	263	評価担当課名:市民協働課	関連部局:社文課	後期基本計画掲載 P.36
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	6.コミュニティづくりの推進
中項目の基本方針	地域の自主性の尊重や地域ごとの個性の発揮に向け、地域単位で活動する各種グループの相互交流や統合を促進し、それぞれのコミュニティにおける組織、意思決定力、行動力などの強化をめざす。		

施策名	地域課題に対応したコミュニティ体制の構築
-----	----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	地域課題の解決に向け、小学校区単位に「まちづくり協議会」の設立を推進し、コミュニティ力を高めていくために文化・スポーツ活動、地域づくり活動、リーダー育成活動などの支援を推進し、また各種地域課題に対応した支援方策を市民とともに検討していく。
---	---

施策の実施状況と課題	「まちづくり協議会」は、平成21年度に6地区が設立され、19地区のうち17地区が設立となり、未設立の2地区の支援を行う。設立後の運営は、地域性が異なり課題が様々であることから、課題解消に向けた取り組み支援として、財政・人的・情報支援を引き続き行う。そのために、各課職員の協力によるまちづくり実践学習、地域サポート職員による地域活動への参加等、課題に応じた支援を図って行く必要がある。
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
まちづくり協議会	設立件数(累計)	地域	-	11	17	19		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
県民交流広場事業	採択件数(累計)	地域	-	8	13	19		

総合評価	施策の達成度	-	地域が自ら活動しやすい支援体制を構築していくことが重要であり、現在は徐々にではあるがその体制を構築しつつある。 また、まちづくり協議会が17地区で設立されており、まちづくりに対する住民意識は高まっていると考えられる。今後、協議会の運営支援体制の確立や地域サポート職員制度の活用など、地域活性に向けた支援を行う。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで以上に力をいれる 	



施策	311	評価担当課名:こども未来課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.37
----	-----	---------------	-------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	1.就学前保育・教育の充実
中項目の基本方針	地域社会のなかで、安心して生き育て、幼児一人ひとりの豊かな個性を育むとともに、望ましい発達を促す子育て・教育環境の充実を図る。		

施策名	子育て環境の向上
-----	----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>「篠山市次世代育成支援対策推進行動計画」に沿って、多様な就労形態に対応した保育ニーズに応えるため、延長保育・一次保育の充実、保育園の適正配置の推進、保育士の資質の向上・人材確保、保育設備の整備、保育制度の充実、さらに事業所内保育所の設置などに取り組む。</p> <p>また、就学前教育の効果、幼保一体化や公設民営化も含めた幼稚園・保育園の適正配置による効果的なサービスなどの検討を進める。</p>
---	---

施策の実施状況と課題	<p>延長保育については、市補助により私立保育園2園で実施している。一時保育は未実施であるが、ファミリーサポート事業で対応した。</p> <p>保育園の適正配置の推進については、平成13年1月22日の「保育所適正配置について」の審議会答申に基づき、公立9園を21年度末で5園とした。又、幼保一体化(預かり保育、認定こども園)実施に向けて取り組んだ。</p> <p>保育士の資質の向上・人材育成については、21年度より幼保一体化に向け職員合同研修会を6回実施、資質の向上と連携に取り組んだ。また、派遣保育士、教諭登録制度の推進を図った。</p> <p>保育設備の整備、保育制度の充実については、20・21年度の臨時交付金を活用し、施設整備に努めた。又、預かり保育・延長保育・障害児保育制度の充実を図った。</p> <p>事業所内保育所の設置については、子育てと就労の両立支援の一環として、病気及び病気回復期の乳幼児の保育を行う保育園を目指すことから、事業所内保育所を検討していたため未実施である。</p>
------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
幼保一体化実施園数	預かり保育		園	-	-	1	3		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	幼保一体化施策の推進に伴い、預かり保育と味間認定こども園開設に向けた取組みや保育園適正配置は計画通り推進できた。今後、小学校への接続がスムーズに出来るよう幼稚園教諭、保育園保育士、預かり保育指導員が連携し、一丸となって幼児の育みに力を入れていく必要があり、これまでの実績や課題を活かしたよりよい施設運営に努める。 病児・病後児保育については、女性の社会進出なども踏まえ必要となる施策であり、今後検討を行う。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	312	評価担当課名:こども未来課	関連部局:学校教育課	後期基本計画掲載 P.38
----	-----	---------------	------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	1.就学前保育・教育の充実
中項目の基本方針	地域社会のなかで、安心して生み育て、幼児一人ひとりの豊かな個性を育むとともに、望ましい発達を促す子育て・教育環境の充実を図る。		

施策名	幼児教育の充実
-----	---------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>「篠山市幼稚園教育振興計画」に沿って、本市の自然や文化を活かし、地域との関わりを大切にした幼児教育を推進する。特に保育園と幼稚園の連携を深めつつ、幼稚園における教育システムの一層の充実を図る。保育士と幼稚園教諭の人事交流や合同研修、資格免許の複数取得などを推進する。</p> <p>特別支援学校や各家庭との連携のなかで、支援を必要とする子どもの就学前教育の推進を図る。</p>
---	---

施策の実施状況と課題	<p>幼稚園2年保育の実施からの課題であった、幼保一体化施策である保育園の統廃合や幼稚園教育終了後の預かり保育、認定こども園の開設については、計画に沿って取り組むことができた。</p> <p>職員の資質の向上に関しては、人事交流の先駆けとして保育園と幼稚園職員の合同研修会を開催し、就学前教育の現状の把握や課題も含めた共通認識を行った。しかしながら、研修会だけでは相互の理解がむずかしいところもあり、今後は体験による業務の理解が必要と思われる。</p> <p>また、支援を必要とする子どもの就学前教育の推進に関しては、保育園、幼稚園それぞれにおいて、特別な支援を必要とする児童への対応として巡回相談を実施しているが、今後も継続しながら保育園、幼稚園、小学校等の連携を図る必要がある。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
2年保育の実施園	2年保育を実施している幼稚園数	園	-	13	13	-		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
相互に連携を図った事業数	就学前教育と小学校との連携	ブロック	3	13	13	増加		

総合評価	施策の達成度	-	<p>幼保一体化施策である保育園の統廃合や預かり保育、認定こども園の開設は計画通り実施したが、保育園と幼稚園の管轄部署が異なっているため、一体化を意識した事業展開には、課題を残した。</p> <p>保育園・幼稚園の連携を深めるため、人事交流や合同研修等の推進を図り、また特別な支援が必要な児童については、巡回相談などを実施しスムーズに小学校への移行ができるような事業展開を行う。</p>
	構成事務事業の妥当性	-	
	施策の方向性	<p>これまで通り力を入れる</p> <p></p>	



施策	321	評価担当課名:学校教育課	関連部局:教育総務課、学事課、 学校給食センター	後期基本計画掲載 P.40
----	-----	--------------	-----------------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	2.学校教育の充実
中項目の基本方針	活力に満ちた魅力ある、開かれた学校づくり、心やすらぐ、ゆとりある環境づくりを進め、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学校・家庭・地域の協働のもと確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する。		

<b>施策名</b>	<b>義務教育の充実</b>
------------	----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「生きる力」の定着や自己実現に向け、個に応じた学習指導を一層推進して確かな学力を育成するとともに、自然・社会体験を重視した心の教育や食育を充実させ、「心豊かでたくましい知的自然児」の育成を目指す。また、教員の資質向上と家庭・地域・学校の連携強化を推進する。同時に、地域社会との密接な関係のもとで児童・生徒の安全性確保に向けた方策を検討する。 また、障害の実態に即した継続的な就学指導に努めるほか、教育施設の地域格差を順次解消し、情報通通信ネットワークなどを活用した交流学习を取り入れ、国際理解教育、情報教育、環境教育、福祉教育などを推進する。
---	--

施策の実施状況 と課題	自然学校やトライやる・ウィーク、「トライやる」アクション、小学3年生を対象とした環境体験事業、農業体験活動などを通して、豊かな人間性や社会性を育ててきた。また、食育については推進校を指定して、家庭や地域と連携しながら取組を進めた。さらに、地域の防犯グループやまちづくり協議会等のボランティアの協力を得て、登下校時の安全パトロール・安全確保に努めた。 少子化に伴う教育環境の格差解消に向けては、「学校教育改革5ヵ年・10ヵ年計画試案」を策定し、城東地区3小学校が統合することとなった。 引き続き、確かな学力の育成に向け、基礎・基本の定着を図るとともに、研修を通じて教員の資質や指導力の向上を進めることが必要である。そして、平成23年度から小学校、同24年度から中学校で全面実施される新学習指導要領に向けて、円滑な移行を行わなければならない。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
耐震化棟数	学校施設における耐震化済棟数	棟	-	3	3	-		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -	-	自然学校やトライやるウィーク、農業体験活動などを通して、豊かな人間性や社会性を育む教育を実施してきた。また、食育への取り組みや登下校時の安全パトロールなども計画通り実施した。また、学校の適正配置も計画通り実施した。 引き続き、確かな学力の定着を目指すとともに、新学習指導要領への円滑な移行を目指す。また、統合した城東小学校の円滑な運営を行う。
	構成事務事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性 	これまで通り力を入れる	



施策	322	評価担当課名:教育総務課	関連部局:学校教育課、総務課	後期基本計画掲載 P.41
----	-----	--------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	2.学校教育の充実
中項目の基本方針	活力に満ちた魅力ある、開かれた学校づくり、心やすらく、ゆとりある環境づくりを進め、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学校・家庭・地域の協働のもと確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する。		

<b>施策名</b>	<b>高校教育の充実</b>
------------	----------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>連絡会議を中心に小中学校との情報交換を行いつつ、4つの高等学校が、時代潮流や生徒のニーズに応じた特色ある施設・設備の充実が図れるよう関係機関に要請していく。</p> <p>また、社会情勢の変化や地域の生徒数の動向を見据えながら、適切な高校・学科のあり方について検討を進める。</p>
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>産業高校丹南校及び東雲校の振興会に対しては補助金での支援を継続している。いずれも生徒数減少に直面しており、将来に向けて存続の要請等を行った結果、東雲校については単独校として存続が決まった。しかしながら、丹南校は平成26年度入学生からの募集が停止となり、27年度末で廃止となることとなった。</p> <p>また、年2回実施している中高連絡会をとおして、各学校間の情報共有を継続的に行うことができている。</p> <p>なお、適切な高校・学科のあり方については県の担当ということもあり、市としての具体的な検討が十分にできていない。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	<p>篠山産業高校丹南校の平成27年度末廃止が決定した。また、年2回実施している中高連絡会をとおして、各学校間の情報共有を継続的に行った。今後は地域ニーズや生徒数の動向に対応した検討や市の支援のあり方を検討する。</p> <p>「ふるさと創生奨学金」については、経済状況等を鑑みた年度途中の貸与についても今後検討していく。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	<p>これまで通り力を入れる</p> <p style="text-align: center;"> →</p>	



施策	323	評価担当課名:学校教育課	関連部局:教育総務課、社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.41
----	-----	--------------	----------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	2.学校教育の充実
中項目の基本方針	活力に満ちた魅力ある、開かれた学校づくり、心やすらく、ゆとりある環境づくりを進め、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学校・家庭・地域の協働のもと確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する。		

<b>施策名</b>	<b>地域に開かれた学校づくりの推進</b>
------------	------------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>地域との連携のもとで、生涯学習社会の広がりに対応できる場の一つとしての学校施設の利用をさらに進めるとともに、児童生徒と市民との交流が可能となる開放的な教育空間の形成を図り、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>また、教育・文化・スポーツなどの指導実績のある市民や、「まなびすとバンク」登録者の協力を得て、今後とも園児や児童と市民との多様なふれあいを構築するとともに、地域住民が「講師」として、学校活動を支え関わるができる体制づくりを進める。</p>
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>地域の方に幼稚園、小・中・特別支援学校の評議員を依頼し意見を聴く「学校評議員制度」の導入や、地域住民も学校行事に参加できる「オープンスクール」を実施している。また、「まなびすとバンク」登録者や地域住民をゲストティーチャー(講師)として授業に協力していただいたり、学校支援地域本部事業でボランティアとして学校運営や教育活動を支援していただいている。さらに、ホームページで学校の取組を広く公表し、開かれた学校づくりを進めている。</p> <p>一方で、子どもを対象にした犯罪や事故が増加しており、今後更に安全性の確保と危機管理対策の強化を地域と連携して進めていくことが必要である。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
オープンスクール実施校数	オープンスクールを実施した学校数	校	-	25	25	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-	-	-	-	-	-	-	-	-

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	学校評議員制度やオープンスクール、ゲストティーチャーの実施により、開かれた学校づくりが定着してきており、学校と地域・家庭のつながりはより深くなってきていると思われ、また子どもたちの安全確保にも大いに寄与している。 今後も家庭・学校・地域の連携を一層深めていく。
	構成事務事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	324	評価担当課名:西部学校給食センター	関連部局:東部学校給食センター	後期基本計画掲載 P.41
----	-----	-------------------	-----------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	2.学校教育の充実
中項目の基本方針	活力に満ちた魅力ある、開かれた学校づくり、心やすらく、ゆとりある環境づくりを進め、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学校・家庭・地域の協働のもと確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する。		

施策名	西部学校給食センターの整備
-----	---------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	完全ドライ方式採用による西部学校給食センターを建設し、衛生管理の徹底した安全安心な給食事業を推進する。
---	---

施策の実施状況 と課題	西部学校給食センターは、平成19年4月より稼動しており、東部学校給食センターと併せて市内の学校給食の拠点が整備できた。
----------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
西部学校給食センター建設・稼動			-	-	稼動	稼動	H19稼動		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	平成19年度よりドライ方式の西部学校給食センターが稼動し、安全安心な学校給食の提供が出来た。 今後は更なる日常管理の徹底を図り、計画的な機器更新に努める。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	331	評価担当課名:公民館	関連部局:社会教育・文化財課、企画課	後期基本計画掲載 P.45
----	-----	------------	--------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	3.社会教育の充実
中項目の基本方針	一人ひとりがその能力を活かし、支え合う地域づくりに向けて、生涯のあらゆる時期及び生活空間において学習に取り組めるよう、学習機会の創出及び学習情報サービスや学習成果を活用する場の充実に努める。		

<b>施策名</b>	<b>社会教育の推進体制の充実</b>
------------	---------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>「篠山市生涯学習推進基本構想」に基づき、社会教育を含む広範な生涯学習活動を総合的に推進していくため、「篠山市生涯学習推進本部」のもとに、横断的推進体制の整備を図り、情報技術を利用した情報収集や情報提供のシステム化に努める。また、市民の学習意欲に応えるとともに、学習推進の拠点となる施設の連携を強化し、市民の自己実現を支援する多種多様な学習内容や機会の充実に努める。</p>
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>「篠山市生涯学習推進本部」を基にした横断的推進体制の整備や情報技術を利用した情報収集については実施できていない。 しかし、教育委員会において、学習機会の充実に関して公民館の取り組みを中心として特色ある事業展開が図れている。推進体制の整備については平成21年度より中央館と分館の2館体制となり、これまで6館体制で行ってきた事業をいかに効率よく実施するかが課題である。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
高齢者大学の受講者	受講者総数	人	-	1,043	964	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	<p>「篠山市生涯学習推進基本構想」に基づき、市全体の進行管理を実施していく。 平成21年度より中央公民館方式により職員の集約化・減員が図られた。今後は事務の効率化を図り、市民との協働のもと、市民ニーズに応えられる生涯学習の場の提供を目指す。また、これまでできなかったことを研究・検討し、新たな事業を展開するきっかけとしていく。</p>
	構成事務事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性	<p>これまで通り力を入れる</p> <p style="text-align: center;"> →</p>	



施策	332	評価担当課名:社会教育・文化財課	関連部局:企画課、公民館、中央図書館、視聴覚ライブラリー、教育総務課	後期基本計画掲載 P.45
----	-----	------------------	------------------------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	3.社会教育の充実
中項目の基本方針	一人ひとりがその能力を活かし、支え合う地域づくりに向けて、生涯のあらゆる時期及び生活空間において学習に取り組めるよう、学習機会の創出及び学習情報サービスや学習成果を活用する場の充実に努める。		

施策名	<b>市民による学習活動の活発化</b>
-----	----------------------

**施策の内容**  
(後期基本計画記載事項の要約)

地域に根ざした生涯学習活動を活発化するため、公民館や地域コミュニティーセンターは、事業運営のための地元指導者の養成に努め、地域の自然や歴史に根ざした地域ならではの学習活動やイベントを支援する。同時に、学習成果の発表機会の充実、学習者、指導者などの相互交流の推進を図る。

また、生涯学習活動を通じて明るい社会づくりを推進するため、ボランティアや市民団体への支援、情報提供、参加のPR、リーダーの育成、団体間の連携の推進などを通じ、健康・福祉学習、人権学習、高齢者学習、青少年の健全育成活動などを支援する。

さらに、社会・経済の急速な変化に対応して、情報提供、主催事業による講習会や学習機会の充実などを通じ、情報活用学習、国際理解学習、自然・環境学習などを支援する。このため、市民の学習拠点として、コミュニティーセンターなどの有効利用を図り、各地域の実態にあった施設として生涯学習関連施設の充実を図る。

次に、四季の森周辺の生涯学習ゾーンと市民センター図書コーナーや公民館、学校図書室との連携強化を図り、中央図書館では、「レファレンスサービス」の充実、乳幼児とその保護者を対象にした「ブックスタート事業」の実施、視聴覚ライブラリーによる映像制作や配信、IT推進事業の推進、県内外の図書館や専門機関と連携による生涯学習情報の収集・発信、情報や資料に精通した専門職員の育成と確保などに努め、多様な市民ニーズに対して的確かつ迅速に応え得る生涯学習の場と資料を提供する。

また、「篠山チルドレンズミュージアム」は、全国で数少ない子どもの参加体験型博物館として、教育・美術系大学や子ども関連施設との緊密な連携を図りながら、未来を担う子どもに新たな体験事業を提供する。

**施策の実施状況と課題**

公民館では、おもしろゼミナール、高齢者大学等の企画運営に市民が参加し、地域で活躍が期待される人材育成の機会とした。また、郷土の文化財や伝統行事をテーマとした市民文化講座、地元食材を使った郷土味学講座、おもしろぼくクッキング等を開催し、篠山の歴史、伝統、文化、特産等篠山ならではの学習活動を推進した。さらに、文化祭や芸能発表会等を通じ、市民の自己実現と相互交流に努めた。市PTA協議会、青少年健全育成推進協議会、PTCAフォーラム、子どもの居場所づくり事業等の支援を通して、青少年や人権等の学習活動また団体間の連携等を推進した。図書館ではレファレンスサービス及び図書館間の相互貸借制度を活用し、市民サービスの充実に努めた。篠山チルドレンズミュージアムでは、ボランティア組織と連携し、子どもたちに様々な体験型ワークショップを提供した。多様化する生涯学習ニーズを踏まえて、必要とする情報を的確に提供できる体制づくり、市民個々の自立的な学習や団体運営及び地域づくりへの展開が今後の課題であり、引き続き支援を必要とする。

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
図書館蔵書冊数	蔵書冊数	冊	99,040	140,611	148,388	150,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
まなびすとバンク登録者数		人	111	109	112	増加		

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	公民館やチルドレンズミュージアム等の事業展開は、市民の社会参加や自己実現に一定の成果をもたらしている。今後も市民ニーズに合った事業内容の充実に努める。 今後は市民が学習活動で得た知識や経験を地域に還元するという展開が求められ、より自立した地域貢献のできる人材や団体の育成を念頭に置いた事業展開を行う。図書館や交響ホール等の活動の相互連携や情報共有を図り、有効かつ効率的な事業運営を心がけていく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	333	評価担当課名:中央図書館	関連部局:公民館、社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.46
----	-----	--------------	--------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	3.社会教育の充実
中項目の基本方針	一人ひとりがその能力を活かし、支え合う地域づくりに向けて、生涯のあらゆる時期及び生活空間において学習に取り組めるよう、学習機会の創出及び学習情報サービスや学習成果を活用する場の充実に努める。		

<b>施策名</b>	<b>ネットワーク化の推進</b>
------------	-------------------

**施策の内容**  
(後期基本計画記載事項の要約)

図書館ネットワークについては、「中央図書館」、「市民センター図書コーナー」及び学校図書室などの連携を深め、資料の相互利用、生涯学習情報の提供と共有を目指すとともに、公民館配本所などに専用の端末を設置し、蔵書検索や情報提供サービスが利用できる環境を整える。

また、オンラインで家庭と図書館を結び、図書や情報に関する調査相談サービスを開始し、ネットワークを駆使してできる限りの回答を行う体制とシステムの構築を進めるほか、県立図書館を中心とした全県的図書館サービスネットワークに積極的に取り組む。

市内における双方向通信システムの整備を視野に入れながら、各家庭からオンラインで多様な学習や各種サービスを受けることができるなど、情報ネットワークによる社会教育の推進について検討を進める。

人材のネットワーク化については、「まなびすとバンク」の一層の充実を図るとともに、社会教育の推進に関する各種組織、ボランティア団体、NPOなどへの支援と相互の連携強化に努める。

また、保養施設などの民間施設や市外の関連団体との連携を強化する。

**施策の実施状況と課題**

平成21年度より6館あった公民館が2館体制となり、公民館に設けていた配本所を支所に変更し、継続的に市内6カ所でのサービスを行っている。当配本所制度は、交通の便が悪く図書館を利用しにくい市民に図書館サービスを提供するには必要な施策であり、今後さらに利用者増進をめざした取り組みが必要である。なお、公民館には専用端末を置かず、各家庭で図書の検索ができる図書館ホームページの充実に努めている。ホームページを利用した図書の予約は飛躍的に増加したが、調査相談サービスの利用者は多いとは言えない。県立図書館とのネットワークの利用者は徐々にではあるが増加してきた。

情報ネットワークによる社会教育の推進については、視聴覚ライブラリーの映像情報提供を核として積極的に行っているが、整備を検討していた双方向通信システムによる学習サービスの確立には至っていない。人材のネットワークについては、まなびすとバンクや図書館に所属するボランティアグループ「としょかんネット・ささやま」等、推進を図っている。

民間施設や市外関連団体との連携強化は、十分な調整が図れていない。

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
図書館利用登録者数	利用登録者総数	人	17,636	22,249	23,452	22,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
図書館配本所年間延べ貸出冊数	配本所での貸出冊数	回	262	34	137	290		

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	配本所制度については配送効率を合理化した。今後はさらに市民へのこの制度の啓発や呼びかけが重要になってくる。情報ネットワークについては、引き続き社会教育施設が相互に協力するよう検討を進める。人材ネットワークについては、ボランティアグループ「としょかんネット・ささやま」の取り組み効果が大きく、今後も必要な行政支援を継続しながら推進が図れるようにする。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	341	評価担当課名:人権推進課	関連部局:公民館	後期基本計画掲載 P.50
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	4.人権教育の推進
中項目の基本方針	市民の人権が等しく尊重されるまちづくりをめざし、人権啓発研修会の開催や、教材化の取り組み、市民が人権の視点で日常の暮らしを点検できる情報提供など、様々な啓発手法で工夫を凝らし、毎年度当初に重点目標を明確にした取り組みを進めていく。		

施策名	人権尊重意識の啓発
-----	-----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	人権施策とその取組について、各支所や公民館などへの住民学習担当者の配置や、「人権施策ホームページ(仮称)」の立ち上げなど啓発活動を展開し、地域のニーズに即した学習内容を取り入れ市民生活がいきいきと送られるように支援活動を推進する。 また、市民の意見を取り入れながら、人権教育・人権啓発を進めるうえで、各施設の積極的な利活用に努める。
---	---

施策の実施状況 と課題	住民学習について、平成21年度より2回のうち1回を各自治会の自主的な取り組みとして学習いただいている。また、住民学習を含む人権講座等を開催しているが、高齢化等の理由により、参加者の減少または固定化などが課題がある。今後いかに幅広い市民の協働と参画が得られるかが今後の重要な課題として残っている。 隣保館については、一部事業を自主運営し、また、地域住民が運営に対して参画を促すなどして職員の一人体制とし、現行の5館を維持した。 また、人権尊重の理念に基づいた人権学習、人権啓発を進めるため「人権条例(仮称)」の制定にむけ委員会を立ち上げた。
----------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
自治会での住民学習会実施率			%	84.1	93.8	96.6	100.0		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
各種人権研修会への参加人数			人	-	209	300	500		

総合評価	施策の達成度 -	-	住民学習について、各自治会の自主的な学習として実施していただいているが、参加者の高齢化による減少や固定化が課題となっている。 地域課題や学習者のニーズの把握に努め、これに応える効果的な学習内容や学習方法について、更に検討を加え、市民が主体的に取り組む学習機会の拡充を図る。
	構成事務事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性  これまで通り力を入れる		



施策	342	評価担当課名:人権推進課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.50
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	4.人権教育の推進
中項目の基本方針	市民の人権が等しく尊重されるまちづくりをめざし、人権啓発研修会の開催や、教材化の取り組み、市民が人権の視点で日常の暮らしを点検できる情報提供など、様々な啓発手法で工夫を凝らし、毎年度当初に重点目標を明確にした取り組みを進めていく。		

<b>施策名</b>	<b>差別解消のための総合的施策の推進</b>
------------	-------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	人権施策遂行にあたり庁内関係各部署における連絡調整を緊密にしながら事業展開し、「人権問題に関する市民意識調査」を実施し、「篠山市の人権施策推進体制」の早急な確立を図る。「人権のための国連10年篠山市行動計画」を人権推進における主要な柱として位置づけ、「人権行政推進本部会議・幹事会」・「人権行政推進懇話会」を発足し、市民の声を反映するための総合的な施策調整機能の充実を図る。
---	---

施策の実施状況 と課題	住民学習の取り組みについては、市人権同和教育研究協議会に業務を委託していたが、21年度から市が推進する体制とした。さらに、隣保館については平成22年度より運営体制の見直し及び事業を校区全域に広げ、さらに多くの皆様に利用いただくべく「ふれあい館」と名称を変更。ふれあい館周辺地域住民との交流のための各種教室、講座及び各種相談事業を実施しており、参加者の固定化などの課題があるが、今後とも相談業務を引き続き行っていき、積極的に活動を周知し推進する必要がある。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
隣保館での相談件数	隣保館相談事業	件	-	464	582	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
人権相談件数	人権相談業務	回	-	20	13	-	-	

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -	-	ふれあい館については、地域のまちづくり協議会等と連携し、多くの市民の皆様にご利用いただけるような運営を行う。 また、人権相談については専門的な機関の紹介や人権擁護委員との連携などを継続しているが、相談内容の複雑化に伴い今後より一層の充実を図る。
	構成事務事業の妥当性 ×	抜本的見直し必要	
	施策の方向性 	これまで通り力を入れる	



施策	343	評価担当課名:人権推進課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.51
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	4.人権教育の推進
中項目の基本方針	市民の人権が等しく尊重されるまちづくりをめざし、人権啓発研修会の開催や、教材化の取り組み、市民が人権の視点で日常の暮らしを点検できる情報提供など、様々な啓発手法で工夫を凝らし、毎年度当初に重点目標を明確にした取り組みを進めていく。		

<b>施策名</b>	<b>男女共同参画社会の実現</b>
------------	--------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	各自治会の活動支援・学校教育での関係機関との連携・職場への男女共同参画への情報提供などを行い、また女性問題相談について、サポート体制の一層の充実を図るなど、男女共同参画に向けての意識啓発やあらゆる分野での男女共同参画社会の実現に向けての取り組みを推進する。
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の男女共同参画推進員委員制度の一層の充実を図るなど、地域社会での男女共同参画の推進を図っている。また、各自治会における住民学習で意識を浸透させる。</li> <li>・現在各種委員会、審議会等の女性登用率が21%に止まっている状況なので、目標値である30%に近づける方策が必要。</li> <li>・男女共同参画センターの機能充実に向け、相談体制を確立し関係部署と連携しながらDVなどに対してサポートできる体制の確立及び効果的な啓発活動を積極的に展開。</li> <li>・女性が働きやすい職場に参画できるよう事業者等への啓発活動を進める。</li> </ul>
-------------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
各種委員会等への女性委員の登用率			%	-	20	21	25		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
相談件数(女性問題、DV、セクハラ、子育て、介護、人間関係等)			件	-	113	71	-	-	

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	各種委員会、審議会の女性登用率の向上については、推進本部・庁内会議等で抜本的な取り組みを推進する。 また、女性にかかる相談内容が多様化している中で、他の部署との連携を強化し、相談体制の充実にも努める。女性が働きやすい職場に参画できるよう、事業者等への啓発活動を進める。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	351	評価担当課名:たんば田園交響ホール	関連部局:社会教育・文化財課、公民館	後期基本計画掲載 P.54
----	-----	-------------------	--------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	5.芸術・文化の振興
中項目の基本方針	より豊かな地域社会を創出するため、伝統文化の保存・継承、新しい地域文化と創造・発信、市民文化活動の育成などを支援するとともに、市民個人と文化活動との出会いや文化活動に関わる人と人との交流を促進する。		

<b>施策名</b>	<b>芸術・文化活動への支援</b>
------------	--------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>市民主体による芸術・文化活動を一層支援し、市民の手で守り育てていく芸術・文化の振興を図る。また、市民がより身近に芸術・文化に親しむことができるように、芸術・文化の発表機会の充実、文化情報の提供、施設の拡充・改修などを推進するとともに、鑑賞方法、展示などの質的充実を促進する。</p> <p>このため、各種芸術・文化団体の育成やそれに関わる人々の間での文化ネットワークの構築とともに、社会教育との連携を強化することを通じて、市民が気軽に芸術・文化に触れられる環境づくりを推進する。また、専門的な知識や技術を有した指導者や文化ボランティアの育成・確保に努める。</p>
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>市民だれもが優れた芸術・文化に触れたり、芸術・文化活動に参加できる機会の充実に努め、文化協会との連携により文化活動の支援を図っている。</p> <p>また、たんば田園交響ホールで開催している「市民ミュージカル」は、平成13年から隔年に実施しており、出演者とスタッフが一体となって、観客と感動を共にする舞台をつくり上げ、市民主体の芸術文化の振興を図っている。計画的な実施運営は図れているが、さらに、ソフト面での環境整備も引き続き充実し、ホール施設の活性化を進めていく。</p> <p>篠山伝統的建造物群保存地区では、市民・関係団体が主体的に取り組み、篠山市が支援する形で伝統的建造物の空間を活かした中に、この地ゆかりの芸術作家の作品を展示発表した、「まちなみアートフェスティバル」が開催された。このような、篠山市で実施している、文化芸術創造都市へのまちづくりの取り組みが高く評価され、平成20年度に文化庁文化芸術創造都市部門において、文化庁長官表彰を受賞した。</p> <p>市民の心の豊かさやより良いまちづくりに向けて、今後も引き続き伝統文化を保存・活用し、新しい地域文化の創造・発信、市民文化活動の育成などの支援、文化情報の提供などを一層充実、強化していく必要がある。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
文化協会加入団体数	市内における文化協会の団体数	団体	-	186	185	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市内3ホールの年間入場者数	交響ホール、四季の森ホール、さぎそうホールの入場者数	人	97,208	66,749	66,898	100,000		

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -	計画通り進める  これまで通り力を入れる 	市民が主体で開催している「市民ミュージカル」や「まちなみアートフェスティバル」等、芸術・文化に関わる機会を作り文化活動の振興を図っている。市民文化活動の進展は篠山市の文化力高揚に繋がると考えられるため、今後も市民自らの活動促進を基本とした、市民ニーズに沿った効率的な支援を目指す。
	構成事務事業の妥当性		
	施策の方向性		



施策	352	評価担当課名:社会教育・文化財課	関連部局:景観室	後期基本計画掲載 P.54
----	-----	------------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	5.芸術・文化の振興
中項目の基本方針	より豊かな地域社会を創出するため、伝統文化の保存・継承、新しい地域文化と創造・発信、市民文化活動の育成などを支援するとともに、市民個人と文化活動との出会いや文化活動に関わる人と人との交流を促進する。		

<b>施策名</b>	<b>文化財の保全・活用の推進</b>
------------	---------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>長年にわたり地域で継承されてきた貴重な伝統芸能や文化を今後も保全・継承していくため、地域などと連携しながら後継者の育成などを積極的に支援するとともに、観光資源や学校教育、生涯学習などでの教材としての利活用も視野に入れた、幅広い活用方策を検討する。</p> <p>これまでに指定されている文化財の保全・活用に引き続き取り組むとともに、さらなる文化財の収集・調査・保全に努める。</p> <p>また、「こんだ薬師温泉」と「兵庫陶芸美術館」との連携を図るとともに、「八上城跡」や「篠山市篠山伝統的建造物群保存地区」の整備を進め、貴重な歴史・文化資源の活用を推進する。</p>
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>町並整備では篠山伝建地区において、建築物6件の修理事業を行うとともに、消火器、消火器具収納ボックス等を設置し、防災力の向上に努めた。福住地区では重伝建選定に向けて、保存対象地区住民から同意書の集約作業を行った。また、歴史文化基本構想策定に関して、市内文化財調査の継続、市民アンケート調査の実施、シンポジウムを開催し、市民の周知広報に努めた。文化施設4館では、築城400年祭に合わせ、「大名家の姿」展を、また篠山春日能では「安宅」を上演し、篠山の歴史文化の発信を行った。今田薬師温泉と兵庫陶芸美術館との連携では、陶灯ライトアップ事業、窯元路地歩き、スタンプラリー等の取り組みを進めた。少子高齢化の進行により、地域に残る祭礼や伝統行事、文化財等の保存継承が困難になってきている。地域で保存活用に取り組む人材育成が課題である。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市指定文化財数	篠山市の指定文化財の総数	件	136	137	137	増加		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-	-	-	-	-	-	-	-	-

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	街並み整備や歴史文化基本構想策定に関して、伝建地区の修理事業やシンポジウムの開催等の事業を実施した。文化施設4館においても、築城400年祭にあわせてイベントを実施し、篠山の歴史文化の発信を行った。 歴史文化基本構想の策定によって、多くの市民が、人材育成や文化財の保存活用等を行政とともに進めていけるよう事業を実施する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	353	評価担当課名:社会教育・文化財課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.54
----	-----	------------------	-------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	5.芸術・文化の振興
中項目の基本方針	より豊かな地域社会を創出するため、伝統文化の保存・継承、新しい地域文化と創造・発信、市民文化活動の育成などを支援するとともに、市民個人と文化活動との出会いや文化活動に関わる人と人との交流を促進する。		

<b>施策名</b>	<b>新地域文化の創造</b>
------------	-----------------

**施策の内容**  
(後期基本計画記載事項の要約)

芸術文化・伝統工芸など、幅広く文化を終結させ、全国に情報発信できる「市展」を開催し、篠山文化の高揚と発展を目指すとともに、文化活動をおし、「創るよこび、見る楽しさ」が体感でき、活動する人たちや地域が元気の出る催しとして定着させていきます。

また、地域に受け継がれた様々な文化資源を保全・活用しながら、市民による地元の自然的・文化的特質を最大限に活かした新しい地域文化の創造を促進するとともに、インターネットなどの情報技術も活用しながら、国の内外を問わず広く本市の文化を発信する。

**施策の実施状況と課題**

日本画、洋画、写真等7部門による篠山市展の開催は21年度で5回目を数え、市を代表する公募展として定着してきている。応募作品も200点を超え、審査員からは年ごとに水準が高まってきているとの評価を得ている。市展の開催には展示会場の設営、作品の受付、7部門ごとの審査、さらに最優秀賞の審査、会場展示、開催中の作品管理、表彰式、作品返却、会場撤収と大きな労力を伴うため、職員数が減少する中、どう作業の効率化を図るかが課題となっている。インターネットによる文化発信は、市ホームページにおいて丹波篠山インターネットTVにより、地域の文化活動や市のイベント等の情報発信ができており、近年充実度を増してきている。

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市展の来場者数	市展作品を見学した来場者数(1日平均)	人	-	177	142	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市民センターギャラリーの利用日数	市民センターギャラリーの利用日数	日	62	79	49	増加		

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める
	施策の方向性	 これまで通り力を入れる
市展開催にあたり、他の市民センター利用に迷惑がかからないよう取り組んだ。今後も市民に親しまれる市展となるような内容の充実を図り、市として誇れる展覧会としていく。 事業展開については、鑑賞する側の立場で考えて事業推進を行う必要がある。展示方法についても、他の団体との連携や協力によるサービス向上を目指す。		



施策	411	評価担当課名:地域計画課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.57
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	1.都市環境の整備
中項目の基本方針	丹波の森構想の理念と緑豊かな地域環境の形成に関する条例を基本として、地域の個性を活かした、ゆとりと潤いのある効率的な都市整備を進める。		

<b>施策名</b>	<b>計画的な都市整備の推進</b>
------------	--------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「兵庫県土地利用基本計画」に即して、西紀北小学校区についても都市計画区域への編入を検討する。また、市街地の無秩序な拡大と非効率な市街地の分散を抑制しつつ、城下町、支所・交通拠点周辺、沿道等において、良好な市街地の整備・誘導を図る。特に、丹南篠山口インターチェンジ周辺及び大沢新東吹線沿道では、需要動向に見合った適切な土地利用転換を促進する。農村工業などの導入地域では、自然環境に負担をかけず、雇用拡大と将来性が期待できる企業立地を促進する。
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	西紀小学校校区の都市計画区域編入については、市への合併後において特に開発事業もほとんどなく、都市計画区域編入による都市計画法での土地利用及び建築物等の規制誘導は、県の緑条例や市のまちづくり条例等でその効果が期待できることから編入は行わない方針である。市街地の無秩序な拡大、非効率な市街地の分散懸念は、策定済みの市国土利用計画に13種の方針別区域設定を行っており、また不況下もあり計画と大きく相違する開発内容は見あっていない。城下からインター及びそのアクセス道路沿道における土地利用転換を関係地域及び地権者等で平成22年度策定する県緑条例の地区整備計画で明らかにする。農村工業団地は平成19年度に東部福住と中央部の2ヶ所の指定を得ている。一日も早い企業進出が期待される。また、城下町地区の都市計画用途地域設定は今後の継続課題とする。
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
篠山市都市計画区域面積		ha	H13 34,995	34,995	34,995	37,761		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
用途地域面積		ha	H13 154	154	154	276		

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	インター周辺・県道大沢東吹線周辺の土地については、県緑条例による地区整備計画を策定することとしている。なお、平成24年度を目途に城下周辺の都市計画道路網において現在の街並み形成状況から見直しを図る予定であり、城下町地区の都市計画用途地域設定については今後も検討を行う。 なお、市の全域都市計画編入については、今後も現状の都市計画区域で実施する方針である。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	412	評価担当課名:地域計画課	関連部局:景観室、地域整備課	後期基本計画掲載 P.57
----	-----	--------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	1.都市環境の整備
中項目の基本方針	丹波の森構想の理念と緑豊かな地域環境の形成に関する条例を基本として、地域の個性を活かした、ゆとりと潤いのある効率的な都市整備を進める。		

施策名	篠山らしい都市環境の形成
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「丹波の森構想」の理念に基づき、地域の人々が丹波の自然と共生し、心豊かに暮らすための篠山らしいまちづくりを推進する。また、地域住民を主体とした、地区レベルの土地利用計画を定める里づくり計画制度により、地域特色を活かした土地利用の促進を図る。
---	--

施策の実施状況と課題	「丹波の森構想」の理念をふまえた県緑条例の環境形成区域(5種)及び環境形成基準の土地・建築・緑化指針により篠山らしい開発内容の創出が図られている。これにより良好な住宅整備が図られつつある。里づくり計画の進捗は平成21年度末現在で、市内261自治会中で7自治会が計画策定されている。今後は県緑条例の地区整備計画制度により市域で開発や土地利用の混在が懸念される3ゾーン(インター周辺、城下町北方面、城下町西方面)の複数の自治会が関与し、かつ市主導の計画づくりの取り組みをはじめ平成22年度中の策定を目指している。あわせて、今後とも里づくり計画地区を年1ヶ所程度は策定支援をしていく。
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
里づくり協議会地区数	里づくり計画認定地区(累計)	地区	6	7	7	13		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	篠山市土地利用計画に基づき、「丹波の森構想」や自然との共生といった篠山らしいまちづくりを推進する。 また、地域が主体となった里づくり計画地区は一定の策定地区で成果が得られているため、今後継続的に新規認定地区ができるよう啓発活動を行う。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	413	評価担当課名:地域計画課	関連部局:社文課	後期基本計画掲載 P.57
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	1.都市環境の整備
中項目の基本方針	丹波の森構想の理念と緑豊かな地域環境の形成に関する条例を基本として、地域の個性を活かした、ゆとりと潤いのある効率的な都市整備を進める。		

施策名	<b>拠点都市機能の整備の推進</b>
-----	---------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	JR篠山口駅周辺では、都市計画道路・大沢味間南線の新設整備を中心に都市機能の充実を目指し、地域住民との協働によるまちづくりを進める。城下町市街地において、都市計画道路網の見直しを進め、「歴史的環境整備街路事業」の推進と、将来ネットワークの確立を図る。あわせて、「街なみ環境整備事業」の推進とともに、「伝建地区」における生活環境の整備促進に努める。 また、その他の地域においても、まちづくり、歴史的環境の保全、農林業・観光振興等への展開を含む拠点都市機能の整備を検討する。
---	--

施策の実施状況 と課題	駅周辺の都市計画道路について国・市の財政状況悪化により凍結を余儀なくされている。工事の再開は現在目途がたてられない。篠山城下町の歴史・文化の魅力を継承し、安心して暮らせるまちづくりを目標とする篠山城下町地区周辺整備は平成18年度以後、街なみ環境整備事業等により市道西町前沢田線、市道中央線において自然石等を利用した歩道や水路を含む道路改良や道路美装化の事業を完了している。また防災上では防火水槽、シンボリックな街なみ演出のため街路灯の設置に現在取り組んでいる。 また、城下町地区の都市計画道路網については計画決定から約50年を経過し、現状に合致していないことにより平成23から24年度にかけて道路網の都市計画決定の見直し予定している。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
都市計画道路整備延長(累積)	都市計画による基盤整備の状況	km	8	8	8	9		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度 -	改善が必要  これまで通り力を入れる 	財政状況緊縮により新たな投資事業の計画実施について抑制せざるを得ない。しかし、これまで都市的生活基盤整備について街路整備に取り組んできたことから、歴史的街並みに配慮しつつ平成24年度を目途に計画の見直しを進める。
	構成事務事業の妥当性		
	施策の方向性		



施策	414	評価担当課名:地域計画課	関連部局:地域整備課、社文課	後期基本計画掲載 P.57
----	-----	--------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	1.都市環境の整備
中項目の基本方針	丹波の森構想の理念と緑豊かな地域環境の形成に関する条例を基本として、地域の個性を活かした、ゆとりと潤いのある効率的な都市整備を進める。		

<b>施策名</b>	<b>緑地拠点の保全と整備</b>
------------	-------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	都市公園の整備に関して、「篠山城跡公園」については、跡地整備などの検討を行い、篠山小学校・幼稚園の場内移転計画の検討も含めた整備促進を図る。「丹波並木道中央公園」の整備(H19年度開園)のほか、既存「公園」の活用と新設「公園」を核とした農村公園などの計画・整備を図る。
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	平成15年度から篠山城跡公園の内堀復元整備工事を継続的に実施し、現在約3割の整備が完了し、中学校の区域外移転を完了している。幼稚園・小学校の城内移転と跡地利用の検討は今後も引き続きの課題となっている。県立丹波並木道公園は平成19年秋に開園し、園内に各自然とふれあうゾーンを設けられ県の運営となっており民間業者の委託管理によりイベント実施等で地域住民も参画するなかで都市住民との交流促進に寄与している。その他市の緑地拠点としてささやまの森公園、丹波伝統工芸公園、川代公園、西紀運動公園、こんだ薬師温泉ぬくもりの郷でそれぞれの機能を発揮する公園があり、さらに管理費用等の運営内容を含め適正な運営がさらに検証する必要がある。
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
都市公園の整備	都市公園の箇所数(累計)	箇所	-	15	15	16		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	「篠山城跡公園」については篠山中学校の移転を終え、「史跡篠山城跡整備基本構想」に基づき現在整備事業の推進中である。また小学校の移転・存続が今後の事業推進の大きな要素であり、検討を行う。「県立丹波並木道中央公園」は、県と連携を行い、市内の緑化拠点となる施設間の連携策やイベントを行う体制等の整備・運営調整を行う。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	415	評価担当課名:地域計画課	関連部局:景観室、地域整備課	後期基本計画掲載 P.58
----	-----	--------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	1.都市環境の整備
中項目の基本方針	丹波の森構想の理念と緑豊かな地域環境の形成に関する条例を基本として、地域の個性を活かした、ゆとりと潤いのある効率的な都市整備を進める。		

施策名	身近な「みどり」の保全と整備
-----	----------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>身近な場所での公園・緑地の整備について、地区公園や街区公園の計画的な配置方針の樹立とともに、農村公園の整備、学校グラウンドの活用などのオープンスペースの確保を行う。</p> <p>また、里づくり計画策定地区をはじめとする集落において、植栽指定路線の認定や関係法令との整合を図りながら、適正な土地利用の促進、森林及び緑地の保全、緑地の推進に指導・誘導を行う。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況 と課題	<p>地区公園や街区公園は都市計画決定を行いその多くは市による管理を行っているが、自治会で従来から設置している自治会公園との維持管理で不均衡を生じている。また、それぞれの公園の利用状況がきわめて低い状態であり、新たな公園整備は現在の所、必要性に欠ける。なお城下町地区においてはポケットパークを2ヶ所設置し、特に観光客に好評であり今後も増設やフリンジ駐車場や観光誘導サイン等の効果ある設置を推進する。里づくり計画地区においては、植栽路線を住民自ら設定され県の花いっぱいモデル支援事業の活用等で地域ぐるみの緑化推進が行われている。市全域での都市緑地法による緑の基本計画については概して農村集落の景観を有しているため、現時点での策定は想定する必然性が乏しいと判断している。</p>
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
県民まちなみ緑化事業活用件数	緑化件数	件	-	1	1	1		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	<p>地区公園や街区公園の設置や管理については現行を維持するとともに、学校グラウンド等のオープンスペースを有効活用する。</p> <p>まちの区域内のオープンスペースの緑化については、県民緑税を財源とする県民まちなみ緑化事業を活用し、地域参加型で整備・管理を実施する。</p> <p>事業実施や今後の財源確保については、県との連携により実施することを検討する。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	
			



施策	421	評価担当課名:地域整備課	関連部局:地域計画課、社文課	後期基本計画掲載 P.61
----	-----	--------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	2.道路・交通網の整備
中項目の基本方針	利便性・安全性の向上に向け、必要性、緊急度などに応じ、交通結節点へのアクセス道路、拠点間を結ぶ道路などの重点的な整備を推進する。また、市街地の交通混雑の解消、高齢者・障害者への対応、環境対策として、公共交通を充実し、利用促進を図る。		

施策名	道路ネットワークの整備の推進
-----	----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	拠点間を結ぶ広域幹線道路については、シンボリック道路としての意義を考慮し、道路空間の整備を推進し、主要道路については関係機関に整備を要請する。また、市街地においては、自動車交通と観光客の円滑な誘導を目的とした、整備を進めるとともに、都市計画道路の見直しを進める。未整備の都市計画道路については、長期的な観点からの街路網の見直しを進める。
---	--

施策の実施状況 と課題	骨格となる広域幹線道路である、国道については整備を進められているが、よりいっそう整備促進を働きかける。また、市道については、補助事業の路線のみ整備を進めているがそれ以外は休止の状態である。都市計画道路網については、社会情勢、市街地の形成状況の変化により、見直す必要がある。
----------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
道路改良率			%	65.2	66.4	66.4	66.4		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度 -	-	市道等の道路改良事業については、新規事業を抑制している現状から新たな市道改良等の整備は困難であるが、国道等の広域幹線道路については、各関係機関に対して早期整備を要請する。 都市計画道路網については決定からの経過年数による交通環境の変化に伴う見直しを行う。
	構成事務事業の妥当性 計画通り進める		
	施策の方向性 今後で通り力を入れる 		



施策	422	評価担当課名:企画課	関連部局:生活課	後期基本計画掲載 P.61
----	-----	------------	----------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	2.道路・交通網の整備
中項目の基本方針	利便性・安全性の向上に向け、必要性、緊急度などに応じ、交通結節点へのアクセス道路、拠点間を結ぶ道路などの重点的な整備を推進する。また、市街地の交通混雑の解消、高齢者・障害者への対応、環境対策として、公共交通を充実し、利用促進を図る。		

施策名	公共交通機関の整備
-----	-----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>JR福知山線篠山口駅などにおいて、駅舎のバリアフリー化とともに、まちの顔となるような駅前空間の整備を推進する。また篠山口以北の複線化について関係機関と連携し働きかける。さらに、丹波大山駅や古市駅のアクセス道路の整備を検討する。</p> <p>バス交通については、コミュニティバスの実現化、既存の交通資源(路線バス、福祉バスなど)、新たな住民輸送(NPOなどによるボランティア輸送)の有効活用などにより、きめ細かなバスサービスの提供を検討する。</p> <p>また、低床型車両や低公害車の導入などにより、高齢者・障害者の移動を支えるものとして使いやすく、環境にやさしいバス交通としていくとともに、市内の移動ニーズに対応した路線運行、接続・運行ダイヤの見直し、バスサービス向上による利用喚起など、路線バス交通を活性化させる施策を検討する。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>JR福知山線複線化については、JR福知山線複線化期成同盟会の中で、要望活動を実施し、スタンプラリー等を通じた利用増進施策を実施した。</p> <p>路線バス対策としては、生活交通の維持確保のため路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーの運行日に対する補助を実施。</p> <p>また、地域公共交通総合連携計画(H21.3)に基づき、コミュニティバスの実証運行、観光ループバスの運行などを実施。</p> <p>課題としては、子どもや高齢者など移動手段を持たない人たちの移動手段の確保について、地域や行政が知恵を出して仕組みづくりを図ることが求められる。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
コミュニティバス運行事業	平均乗車密度	人	-	1.6	1.5	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	<p>JR福知山線複線化について、要望活動などの利用増進施策を実施した。また、路線バス対策として生活交通の維持確保のための補助や、地域公共交通総合連携計画に基づく事業を実施した。</p> <p>今後は、子どもや高齢者など移動手段を持たない人たちの移動手段の確保等について、地域と行政が一体となった仕組み作りを図っていく。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	<p>これまで通り力を入れる</p> 	



施策	431	評価担当課名:下水道課	関連部局:経営企画課	後期基本計画掲載 P.63
----	-----	-------------	------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	3.生活排水処理施設の整備
中項目の基本方針	生活排水処理施設は、処理区の統廃合、役割分担の適正化などを進め、適切な管理・運営を促進する。また、処理施設における資源の有効活用を図る。		

施策名	生活排水処理施設の適切な管理・運営
-----	-------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	生活排水処理施設は、処理区のブロック化、統廃合などの検討を進める。また計画的な整備・管理・運営に努め、整備済み地域内での水洗化を推進する。今後も、未整備地区について、農業用水路と都市排水路の分離を図りつつ、集合処理施設の拡充に努める。また、民家が散在するなどにより集合処理施設整備が困難な地区でも、小型合併処理浄化槽の設置を推進する。
---	---

施策の実施状況 と課題	篠山市の水洗化率は100%でなく、未接続者の早期接続を推進する必要がある。平成20年度からあさぎり苑のし尿汲取り時に合わせて、接続意向調査を実施しているが、未接続者の多くが、経済的理由、後継者が不在、家屋の老朽、年金生活などの理由が多い。 処理区の統廃合については、平成20年度に関係省庁から一定の方針が示され、10年経過をひとつの条件として採択される。施設の効率的な活用と計画的な改築を推進するため施設や設備の統廃合や長寿命化についての計画を策定する必要がある。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
水洗化率	市内の水洗化人口	%	80.1	88.4	89.2	97.6		H21丹波市91.6%、加東市89.1%
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度 -	改善が必要  これまで以上に力をいれる 	水洗化率向上に向け、し尿汲み取り時に合わせて接続意向調査を実施しており、意向調査の分析を含めた、未接続要因に応じた普及対策に取り組む。 処理区の統廃合については、統廃合計画を策定する。
	構成事務事業の妥当性		
	施策の方向性		



施策	432	評価担当課名:下水道課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.63
----	-----	-------------	-------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	3.生活排水処理施設の整備
中項目の基本方針	生活排水処理施設は、処理区の統廃合、役割分担の適正化などを進め、適切な管理・運営を促進する。また、処理施設における資源の有効活用を図る。		

<b>施策名</b>	<b>し尿処理施設の適切な管理・運営</b>
------------	------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「あさぎり苑」の発生汚泥量の見通しが具現化したことを受けて、経費節減及び効率化を図るため、下水汚泥処理とし尿処理のあり方などについて具体的な検討を進める。また、集合処理地域と小型合併処理浄化槽地域での管理負担については、小型合併処理浄化槽の管理が、各設置者の管理となっていることから、その管理方法とあわせ、適切な維持管理が推進できるような対策を検討する。
---	---

施策の実施状況 と課題	下水道事業のミックス事業の取り組みにより、平成19年度からあさぎり苑でのし尿、汚泥の処理は前処理工程を残し、運転を停止している。これにより施設の維持費が大きく軽減された。平成23年度半ばから市内の下水処理場の汚泥の乾燥業務が開始予定であり、安全面、環境面に配慮した効率的な業務としなければならない。小型合併浄化槽の法定検査の実施やその他必要な適正管理についての指導は県の業務として行われているが、個別処理区における合併浄化槽設置の補助申請事務を市で行っているため、設置相談や受付時において適切な合併浄化槽の管理について普及啓発も合わせて行っている。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
し尿処理量	し尿汲み取り量	kl	-	2,264	2,090	2,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
汚泥投入量	浄化槽汚泥の投入量	kl	-	3,181	3,210	3,141		

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -	-	し尿処理施設におけるミックス事業の取り組みにより、市内の下水道処理場汚泥が乾燥処理されることから、施設完成後の効率的な管理運営が期待される。また、小型合併浄化槽の法定検査の実施やその他必要な適正管理については、合併浄化槽の維持管理相談時に適切に対処する。
	構成事務事業の妥当性 計画通り進める		
	施策の方向性 これまで通り力を入れる 		



施策	433	評価担当課名:下水道課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.63
----	-----	-------------	-------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	3.生活排水処理施設の整備
中項目の基本方針	生活排水処理施設は、処理区の統廃合、役割分担の適正化などを進め、適切な管理・運営を促進する。また、処理施設における資源の有効活用を図る。		

施策名	資源の有効活用
-----	---------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	省資源・循環型社会の構築に向けて、処理水の水資源化や発生活泥の再資源化・活用方法の研究・検討を進める。
---	---

施策の実施状況と課題	下水処理場から発生する汚泥の処理は、脱水した後、民間の処理場で堆肥化されている。市内での有効活用は、平成23年に汚泥乾燥機を稼動予定であり、資源の有効活用、コスト面から市内での堆肥化をはじめとする有効活用を検討する必要がある。 処理水の資源化は、一部の処理場で消泡水などの場内水に再利用している。
------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	下水汚泥については民間処理場で堆肥化され、資源化の取り組みがなされているので、市による堆肥化についても農作物等への効力について更に調査研究を進める。 また、MICS事業の適切な運用や円滑な稼働に向け、具体の調整を行う。 処理水の有効利用に関しては、現状どおり進めていく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで以上に力をいれる 	



施策	441	評価担当課名: 上水道課	関連部局: 経営企画課	後期基本計画掲載 P.65
----	-----	--------------	-------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	4.水資源確保と安定した水道供給
中項目の基本方針	引き続き、上水道の安定的供給や限りある水資源を大切に使うための意識づくりを高めるとともに、水道水質基準の遵守や水道供給システムの効率化・安定化を図る。		

<b>施策名</b>	<b>上水の安定的供給</b>
------------	-----------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	水資源確保とともに、効率的な水運用を行うため、経費節減に努めつつ、老朽化した施設の統廃合と施設整備などを計画的に推進する。また、配水管路のブロック化による計画的な漏水調査を実施することにより、有収率の向上を図り、安心・安全でより安定した水の供給に努める。また、給水区域の拡大や新たな需要家の獲得、企業誘致等の水需要の拡大を推進する。同時に、今後の整備計画も含めた財政計画にそって、適正な水道料金への見直しを行う。
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	施設統廃合計画に基づき非効率な給配水施設を廃止するとともに、簡易水道の上水への統合に向けても計画的な検討を行う必要がある。また、中長期的な観点に基づき、施設や設備の改築や修繕を実施する計画を策定し、水道会計の安定化を図る。有収率については、通常の漏水に加え老朽化による少量漏水が多数あると考えられていることから、有収率向上を図るためには、効率的な老朽管布設工事を計画的に実施していくことが必要である。
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
有収率	給水量/配水量 × 100	%	-	82.8	82.3	-	-	類似団体 86.4%
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -	水道管の老朽化による漏水対策として、路線単位で計画的に管路更新工事を実施し、有収率の向上を図る。また、財政面において、アセットマネジメントの観点より、長期的な維持管理計画を策定し対応する。 水道料金については、次期総合計画において現状維持に努めるとしている。
	構成事務事業の妥当性 計画通り進める	
	施策の方向性 ↑ これまで以上に力をいれる	



施策	442	評価担当課名:農林課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.65
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	4.水資源確保と安定した水道供給
中項目の基本方針	引き続き、上水道の安定的供給や限りある水資源を大切に使うための意識づくりを高めるとともに、水道水質基準の遵守や水道供給システムの効率化・安定化を図る。		

施策名	水源を涵養する森林の保全
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	不安定水源の解消や既設水源の有効活用を図るため、水源涵養林保全意識の啓発とともに、県と連携し、水源涵養林の拡大などを行う。
---	---

施策の実施状況 と課題	手入れされた森林は、緑のダムとなって、良質な水を育む水源涵養機能などの多様な機能を有していることから、公的な管理施業を行い森林の機能維持を図っている。公的な管理施業は予算など事業費の制約があり、整備面積は大きく進捗しない。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
環境対策育林事業実施面積	間伐した育成林の面積(累計)	ha	249	866	992	2,200		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
保安林改良事業	本数調整伐した保安林の面積	ha	9	52	76	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	公的な管理施業を実施した森林は、良質な水を育む水源涵養機能などの多様な機能を有していることから、今後も計画的に公的な管理施業を実施するとともに、地域やボランティア団体等での管理施業の推進を図るなど、森林資材の重要性と里山保全の意識向上を図るなどの施策を展開する。また、松枯れ及びナラ枯れ対策を実施する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	443	評価担当課名:経営企画課	関連部局:上水道課	後期基本計画掲載 P.65
----	-----	--------------	-----------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	4.水資源確保と安定した水道供給
中項目の基本方針	引き続き、上水道の安定的供給や限りある水資源を大切に使うための意識づくりを高めるとともに、水道水質基準の遵守や水道供給システムの効率化・安定化を図る。		

<b>施策名</b>	<b>水資源有効利用意識の啓発</b>
------------	---------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	水資源の有効利用意識を高めるとともに、湯水時の節水意識向上に向けた啓発や情報提供をより一層充実する。
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	水道の使用量については、人口減少・全国的に節水意識の高まりによる節水機器の普及により減少傾向にあるが、水資源有効利用意識の啓発は必要であり、市広報・水道広報で周知を図るとともに、毎年6月1日から7日までの水道週間において横断幕の設置や市内施設及びロビーでの展示・市内小学校の浄水場見学を実施している。
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
水道広報宣伝回数	市広報・水道広報	回	-	13	14	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
節水意識の普及業務	展示PR・浄水場見学	回	-	16	18	-	-	

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 

広報での周知や水道週間における展示事業、浄水場見学など、水資源有効利用の啓発活動を実施している。  
今後も水資源の有効利用を意識付けるため、市広報や水道週間のPR活動、浄水場見学の受け入れなどを実施し、市民啓発を行う。



施策	451	評価担当課名:市民協働課	関連部局:総務課、企画課	後期基本計画掲載 P.67
----	-----	--------------	--------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	5.情報・通信基盤の充実
中項目の基本方針	ITの多様な活用を検討し、市民生活の向上をめざす。CATV網、携帯電話などを活用した実用的な情報・通信手段の確保に努め、行政事務効率化、福祉、健康、教育、文化、防災などでの利用を推進する。また、情報化に伴うトラブル防止やデジタルデバイドの防止の普及啓発活動を促進する。		

<b>施策名</b>	<b>情報・通信基盤の充実</b>
------------	-------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>市広報紙、ホームページ、市ビデオ広報などをお互いに連携させ、それぞれの特長を生かしながら、より細やかで、タイムリーな情報発信に努める。光ファイバーを利用したCATVについては、市民生活の利便性向上のため、市による自主放送サービスの有効活用を検討する。緊急時の情報通信システムについては、CATVの活用や防災行政無線機能により地域コミュニティを基礎とする多面的で実用的なシステムを検討し、早急な整備を図る。</p>
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>市広報紙の作成にあたっては、市の動きや元気な市民活動を集めながら、市民にタイムリーかつ的確に情報を伝えるように努めているが、若年層や観光客等の読者が少ないことが課題である。</p> <p>また、近年いろいろな事件等の発生により、緊急時の情報通信として防災行政無線機能の情報通信システムの活用等や、地域サポート職員制度(自治会連絡員)による連絡体制の活用を行う。</p> <p>地デジ事業については、補助事業を活用してテレビ自主共聴施設における地上デジタル化を進めるとともに、各家庭におけるデジタル化対応についても、啓発活動を行っている。CATVを利用した自主放送サービスは市民への行政情報の提供に効果と支持を得てきたが、デジタル化に伴いアナログチャンネルの廃止によりH23年には終了する。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
発行ページ数	年間広報誌総ページ数(挟み込み含む)	ページ	-	404	416	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	広報紙の策定・発行にあたっては、出来るだけ多くの市民に読んでいただくため、市内の診療所や美容院等に配布するなど、情報発信の取組みを行っている。 また、複数あった市の定期的行政情報を出来るだけ広報紙に集約するとともに、市内企業紹介など広報内容の刷新に取り組んでいる。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	452	評価担当課名:総務課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.67
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	5.情報・通信基盤の充実
中項目の基本方針	ITの多様な活用を検討し,市民生活の向上をめざす。CATV網,携帯電話などを活用した実用的な情報・通信手段の確保に努め,行政事務効率化,福祉,健康,教育,文化,防災などでの利用を推進する。また,情報化に伴うトラブル防止やデジタルデバイドの防止の普及啓発活動を促進する。		

施策名	情報・通信網の多面的利用
-----	--------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>地域イントラネットを利用した電子申請や公共施設利用予約などにより、行政上サービスの充実に努め、民間の協力を得ながら、ITによる市民生活のサービス向上を目指す。</p> <p>また、質の高い行政サービスの実現のために、「篠山市統合型地理情報システム」の消防、福祉、教育などの分野での新たな展開を検討する。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況と課題	<p>地域イントラネットを使った市民サービスは、電子申請や施設予約システムなどで進展している。HPを活用しての市民生活情報の提供はほぼ行政サービスの全分野に及んでいる。地図情報システムは住民サービスを目的とした「道知る兵衛」と庁内Web-GIS、さらに事業毎のGISで庁内の業務をカバーしている。基礎情報を共有しているが、各種地図情報を共用し一元的に管理するには至っていない。職員の利活用が求められる。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
年間アクセス件数	篠山市ホームページ年間アクセス件数	件	-	745,000	752,000	-	-	類似他団体年間アクセス件数 180,000
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
電子申請による申請数		件	-	168	180	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	<p>ICTを活用した市民サービスは費用を抑制しながらも積極的に行ってきた。</p> <p>今後も双方向性を活用したICTによるサービスの提供を図る。また、総合的GISの活用を促進するため、職員研修の実施などを検討する</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	453	評価担当課名:総務課	関連部局:視聴覚ライブラリー	後期基本計画掲載 P.67
----	-----	------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	5.情報・通信基盤の充実
中項目の基本方針	ITの多様な活用を検討し,市民生活の向上をめざす。CATV網,携帯電話などを活用した実用的な情報・通信手段の確保に努め,行政事務効率化,福祉,健康,教育,文化,防災などでの利用を推進する。また,情報化に伴うトラブル防止やデジタルデバイドの防止の普及啓発活動を促進する。		

<b>施策名</b>	<b>情報化への対応の促進</b>
------------	-------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>情報化社会には情報格差やネットワーク犯罪、個人情報保護など様々な問題を内部にはらんでいることから、サービス向上のための情報化を進めるとともに、これらの問題の対策と解決に努める。</p>
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>市民の情報化は地域イントラネットの推進により、大きく発展してきた。一方でデジタルデバイドと呼ばれる格差を生んでいる。他の機関との連携でネットワーク犯罪防止の講演会等を開催し、また中央図書館でのIT教室開催による市民の情報化に努め、情報格差の是正に努めてきた。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
ITサロン年間延利用者数			人	4,500	4,600	4,800	5,000		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
職員パソコン講習受講数			人	0	0	21	30		

<b>総合評価</b>	施策の達成度:	-	<p>情報化社会の推進やネットワーク犯罪の防止、個人情報保護に関して、市民への普及・啓発活動を実施してきた。 地域イントラネットを活用したさらなる情報化により、安全性と信頼性を高めることができ、一方でネットワーク犯罪なども多発しているため、職員の技術(資質)と意識の向上を行い安全なネットワークサービスを構築する。</p>
	構成事務事業の妥当性:	計画通り進める	
	施策の方向性:	<p>これまで通り力を入れる</p> 	



施策	511	評価担当課名:農林課	関連部局:農業委員会事務局、地域整備課	後期基本計画掲載 P.71
----	-----	------------	---------------------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	1.農林業の振興
中項目の基本方針	農業・農村・山村を支える多様な人作り,長期的視点に立った土作り,消費者と連携した安全・安心・信頼のブランド作り,商業・観光との連携強化などを進め,景観形成,環境維持・向上,災害防止などにおける農林業の意義を高めるとともに,明るく生きがいのある農のある生活の再生をめざす。		

施策名	農林業生産基盤整備の推進
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>農業については、農業基盤の改修や鳥獣害防護柵の設置を推進する。同時に「堆肥センター」、「ファーマーズマーケット(JA)」の整備等、検討を進める。また、黒大豆等の生産・処理機械施設等の、設置・拡充などへの支援策を検討する。さらに、農業生産の低コスト化・効率化や商品の競争力を高めるために、土づくり・輪作の支援や休耕地を活用した実験農地の設置を検討する。</p> <p>林業については、適切な支援措置による人工林の間伐や林道などの基盤整備を促進する。また、特用林産物の生産林の整備や明るい林相を進める。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>土地改良事業等により整備した施設の老朽化が進んでおり、各補助事業により農業用施設等の改修を進めているとともに、簡易な改修については「農地水環境保全向上対策」等により実施している。</p> <p>有害鳥獣対策として計画的に防止フェンスの設置を行っているが、地元負担が伴うため実施地区は頭打ちとなっている。</p> <p>産物販売ではファーマーズマーケットが整備され地産地消、販売機会の拡大ができた。</p> <p>森林整備は、各事業により人工林の間伐をはじめ、林道・作業道の整備、境界の明確化などを計画的に実施している。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
鳥獣防護柵の延長(累計)	鳥獣防護柵延長	km	108	148	164	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
黒大豆作付面積	黒大豆作付	ha	523	601	599	553		

総合評価	施策の達成度	-	<p>農業基盤の改修や、鳥獣害防護柵の設置などの整備については、中山間地域整備事業、村づくり交付金事業などで計画的に行ってきた。今後も、鳥獣害防護柵については、財源確保が課題であるが、積極的な取組みを実施していく。</p>
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる ➡	



施策	512	評価担当課名:農林課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.71
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	1.農林業の振興
中項目の基本方針	農業・農村・山村を支える多様な人作り,長期的視点に立った土作り,消費者と連携した安全・安心・信頼のブランド作り,商業・観光との連携強化などを進め,景観形成,環境維持・向上,災害防止などにおける農林業の意義を高めるとともに,明るく生きがいのある農のある生活の再生をめざす。		

施策名	<b>経営体と担い手の育成</b>
-----	-------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	農地の集積を推進するとともに、市民の農業に対する意識向上を促進し、また市民主体の地域づくりと連動するため、市内外に広く情報を発信し、参加・体験の機会を通じた担い手の育成を推進する。特に近年、生産調整の強化や鳥獣被害により、山間部を中心に農地の荒廃が進むなか、集落営農組織の支援対策を進める。 各生産組合のリーダーの育成や法人化の推進とともに、空き家情報の提供や「農地流動化調整会」の充実を図る。また、「中山間地域など直接支払制度」の実施、「農業後継者・就農促進協議会」の設立、「農業インターン制度」の創設、農林産物加工グループへの支援等を検討する。
---	---

施策の実施状況 と課題	農業者の高齢化、人口流出により農業化後継者は著しく減少しており、現在のところ認定得農業者や個人の農家への土地の集積を行うことにより農地の利用が概ね確保されている。 認定農業者には着実に増加し、機械の導入支援等により着実に経営規模の拡大が進んでいる。 今後一段と進む人口減少により担い手農業者を確保することは大きな課題である。新規就農者の確保も進め、施設経営においては就農を始めた者もいるが、施設野菜などが主であり、大規模な経営は望めず農地の利用拡大にはつながりにくい。 特産作物もブランド化が進んできたが、価格低下の大きな社会の流れの中で収益性の悪化が懸念されているとともに、土づくりなど直接収益に寄与しない活動を進めることが課題である。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
集落営農組織数	集落営農組織の数	組織	117	113	113	180		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
認定農業者数	認定農業者の数	経営体	23	39	41	44		

総合評価	施策の達成度: -	改善が必要  これまで通り力を入れる 	後継者不足の解消に向けて、集落営農組織の設立を推進するとともに、生産組合のリーダー育成や法人化の推進を図っている。 認定農業者の育成や集落営農組織の充実等を講じるとともに、新規就農者への支援対策が不十分なため、今後新たに支援施策を展開する。
	構成事務事業の妥当性: -		
	施策の方向性: -		



施策	513	評価担当課名:農林課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.72
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	1.農林業の振興
中項目の基本方針	農業・農村・山村を支える多様な人作り,長期的視点に立った土作り,消費者と連携した安全・安心・信頼のブランド作り,商業・観光との連携強化などを進め,景観形成,環境維持・向上,災害防止などにおける農林業の意義を高めるとともに,明るく生きがいのある農のある生活の再生をめざす。		

施策名	農林産物の販売力の強化
-----	-------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>地域特産物のブランド力と品質の向上をめざし,JAや普及センターなどと協力しつつ,ブランド構築を進めるとともに,環境に配慮した生産や品質基準,農薬・化学肥料使用基準などの確立を検討する。大都市や交通拠点における特産物展示・販売施設の整備,学校給食や高齢者支援グループと連携した地産地消,ITの有効活用,消費者ニーズや商品動向に即した販売戦略の立案・展開を促進し,特産物振興の強化に努める。</p> <p>また,地域産木材の活用,間伐材の利用などを促進し,多くの人に木の良さを知ってもらう機会を増やすとともに,木材需要の向上に努める。</p>
---	--

施策の実施状況 と課題	<p>JAファーマーズマーケットの整備により,農産物販売機会の創出や学校給食への地元野菜の供給,米粉の活用を図っている。</p> <p>地域ブランドについては,“丹波篠山ブランド認証委員会”を立ち上げ,認証基準等の検討を進めるとともに認証プレートの配布などに取り組んだ。しかしながら品質向上などの消費者の求める嗜好に合わせた取組が進んでおらずブランド価値を高めたり,認証制度を構築することが課題である。間伐材の利用等については,関係機関と連携し木の良さを知ってもらう機会を増やすことや,木材需要の向上が課題である。</p>
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
青山デカンショ黒枝豆販売量	青山デカンショ特産市での黒枝豆販売量	kg	-	444	530	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
特産間ささやま年間利用者数		千人	-	84	108	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	改善が必要	<p>マスメディアの活用やPRイベントの開催などの手段と併せ,あらゆる販売戦略を駆使し「丹波篠山」を全国に発信している。</p> <p>今後は,生産者と販売者の両方で丹波篠山ブランドに対する意識の徹底を図り,販売の強化に繋げていく。また,間伐材の利用についても,森林組合などと連携し検討を行う。</p>
	構成事業の妥当性			
	施策の方向性	<p>↑</p> <p>これまで以上に力をいれる</p>		



施策	514	評価担当課名:農林課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.72
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	1.農林業の振興
---------	-------	-----	----------

中項目の基本方針	農業・農村・山村を支える多様な人作り,長期的視点に立った土作り,消費者と連携した安全・安心・信頼のブランド作り,商業・観光との連携強化などを進め,景観形成,環境維持・向上,災害防止などにおける農林業の意義を高めるとともに,明るく生きがいのある農のある生活の再生をめざす。
----------	---

施策名	連携・交流による農林業の振興
-----	----------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>農地、里山、棚田などについては、景観・環境資源、かつ都市住民と地元住民がともに憩い・学び・交流の場として、地域ぐるみ又は広域的な観点から保全・活用に努める。また、「農地・森づくりオーナー事業」や「丹波松茸大作戦」を実施するとともに、「農地保全ボランティア調整組織」の設立を検討し、民間・個人による市民農園の設置を促進する。「県民緑税」を活用し、里山防災林整備、野生動物育成林整備などを行う。</p> <p>農産物の生産における品質の向上と量の拡大を農家に働きかけるとともに、農家民宿やホームステイ、一般農家での農作業・ものづくり体験などの篠山の特性を活かしたグリーンツーリズムを促進する。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>篠山の観光の一要素である農村空間を活用した都市住民等の受入について、収穫体験などの取り組みが進んでいるが、一時期の活動であり滞在時間の拡大やリピーター率の向上につなげない。</p> <p>滞在型市民農園が市内に4箇所整備でき、滞在時間の長い交流事業として取り組まれている。滞在型市民農園は、施設事業費が高いため多くの整備が困難である。</p> <p>一方空き農家などの地域資源が賦存しておりこれらの資源を活用することも今後必要と考えられる。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市民農園の総面積(建物、農園)	市民農園として利用した土地面積	ha	2.3	2.8	3.7	6.4		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市民農園の数(滞在型)	箇所数	箇所	2	2	4	4		

総合評価	施策の達成度	-	市民農園を始め、企業の森などの交流に加え、都市住民等を受入れ、農作業や集落活動などの交流事業を行う集落が増えつつある。 今後も、市の情報を市内外に発信し、非農家や都市部からのボランティア等による応援を得ながら農村の活性化を図るとともに、定住も視野に入れた取り組みを行っていく。
	構成事務事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	521	評価担当課名:企業振興課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.74
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	2.商工業の振興
中項目の基本方針	魅力ある個性的なまちとして発展していくため、商工会など関係機関と連携し、本市の自然や歴史との調和のもとに、市民ニーズに対応する多様な商工業の振興を図るとともに、伝統産業育成、起業支援を図るなど、環境と調和した就労の場の充実をめざす。		

施策名	多様な商工業空間の形成
-----	-------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>中心市街地活性化に向けて、空き店舗の多面的利用、商業の担い手育成などを推進し、商業空間の維持・向上を図る。また、JR篠山口駅周辺や今田町立杭地区における商業空間形成を推進するとともに、地域景観、既存商業施設との調和を図りながら新規出店を誘導する。加えて、県・商工会と連携するなかで、産業の活性化、産業構造の高度化を図り、並行して商工業の活性化方策について調査・研究を進める。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>中心市街地活性化については、平成13年に策定した「篠山市中心市街地活性化基本計画」が18年の法改正により法的根拠を失ったため、新基本計画を策定すべく商工会や商店街連合会を中心にワークショップや勉強会を開催した。また、現在約60店舗が確認されている空き店舗対策は、商工会が9年度から実施し、21年度末で36店舗を手がけたが、その約4割が退店するなど新規出店だけでなく定着率向上も課題となっている。また、市域全域では、今田町上立杭の景観形成地区指定のように、地域景観への配慮した商工業の立地が肝要であるとともに高齢化社会を迎え地域と密着した商店を維持・確保するため、商工会等を通じて人材育成、経営品質向上や活性化研究事業等を展開している。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
空き店舗解消件数	商工会に登録している空き店舗の開店数	件	-	5	2	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
商工会員数	篠山市商工会に入会している事業所数	件	-	1,399	1,355	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	<p>アートフェスティバルが本格開催したほか、西町縁日など新しい試みも一定の成果を挙げており、今後は総合的な方針決定を行っていく。 改正中心市街地活性化法により中心市街地活性化協議会を設立し、中心市街地活性化基本計画の策定に取り組んでいる。多様な商工業空間を創造できるよう効果的に計画を推進し、商工の活性化を図る。</p>
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	522	評価担当課名:企業振興課	関連部局:農林課	後期基本計画掲載 P.74
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	2.商工業の振興
中項目の基本方針	魅力ある個性的なまちとして発展していくため、商工会など関係機関と連携し、本市の自然や歴史との調和のもとに、市民ニーズに対応する多様な商工業の振興を図るとともに、伝統産業育成、起業支援を図るなど、環境と調和した就労の場の充実をめざす。		

施策名	<b>地域特性を活かした産業の振興</b>
-----	-----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>伝統的な地場産業の担い手育成を行い、「丹波伝統工芸公園陶の郷」などの施設を活用し、産業の振興を図る。</p> <p>また、自然環境資源を活かした循環型産業の誘致など、地域特性を踏まえた産業の振興について検討を進める。</p> <p>さらに、新分野ビジネスの創出として、コミュニティの課題やニーズをビジネスチャンスとして捉えたコミュニティビジネスなどの起業支援を行う。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>丹波焼については、「あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン」と連携して、広域に情報を発信するが、新型インフルエンザにより陶の郷入園者は減少し、売り上げも安価な外国製陶器の影響から低減しているため、新たなマーケティングが必要である。また、丹波杜氏などにおいては、高齢化による担い手不足が課題となっている。循環型産業としては、市内スーパーが残渣を堆肥化し、オーガニックファームで商品となる野菜を生産していることがマスキミに大きく取り上げられ、農商工連携によるアグリ産業クラスター展開のひとつの方向が示された。コミュニティビジネスについては、まちづくり協議会で実践学習会を開催し、一部の協議会では、NPO法人を設立しての学童保育やネットショップ等に着手している。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
陶の郷入館者数	陶の郷の年間入館者数	人	-	80,492	79,769	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
丹波杜氏組合員数	丹波杜氏組合に入会されている人数	人	-	145	127	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	地場産業は人口減少と高齢化により、地域経済の担い手が減少し厳しい状況に置かれている。 丹波焼を取り巻く環境としては、海外販売を視野に入れた事業展開など新しい取組みがなされているものの、「陶の郷」の入館者は減少しており、今後運営方法等について指定管理者と協議し振興を図る。杜氏組合では新しい広報活動に取り組みしており、今後産業振興に繋がるものを強化していく。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる ➡	



施策	523	評価担当課名:企業振興課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.75
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	2.商工業の振興
中項目の基本方針	魅力ある個性的なまちとして発展していくため、商工会など関係機関と連携し、本市の自然や歴史との調和のもとに、市民ニーズに対応する多様な商工業の振興を図るとともに、伝統産業育成、起業支援を図るなど、環境と調和した就労の場の充実をめざす。		

施策名	就労の場の拡大
-----	---------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>県との連携による誘致の推進を図るとともに、企業立地及び産業集積による就労の場の拡大を検討する。また、企業と地域との関連性を強化し、安定した産業集積を目指す。</p> <p>また、地元での就労の場の拡大を図るとともに、ハローワークや商工会と連携し企業展や商業展の開催、起業家育成講座の開催などを行う。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況と課題	<p>農工団地への企業誘致を中心に市内遊休土地への進出も促し、県と連携するなかで空き工場に1件の立地が成約できた。また、就業の場としての市内企業を紹介するため広報誌における「企業レポート」掲載を開始し、他にも市役所ロビーを使った「企業紹介展」を開催した。あわせて、県、ハローワーク等と連携した「就職フェアインたんば」、「就職フェアイン篠山」、「企業紹介フェア」、篠山産業高校2、3年生500人を対象にした「企業紹介セミナー」、1、2年生を対象にした「企業見学会」や商工会と連携して「企業紹介パンフレット」を作成し、大学・専門学校等340箇所に配布した。起業家育成については、商工会を中心に引き続き取り組みを継続する。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
企業立地	就業先確保の指標である市内での新規事業所の立地数	件	-	0	1	2		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
工業関係事業所数	雇用機会の状況を示す数値として市内工業関係の事業所数と従業者数	ヶ所 人	157 4,485	137 4,159	119 3,593	減少幅 の縮小		

総合評価	施策の達成度	-	<p>平成20年度に市の持つ企業誘致の強み・弱みの分析を行い、今後の企業誘致・産業の集積に向けた基本方針を策定し、誘致活動を展開している。</p> <p>平成21年度は1社が空き工場へ進出したが、市が重点施策としている3つの農工団地への工場立地には至っておらず、今後引き続き就労の場の拡大に繋がる誘致活動を実施する。</p>
	構成事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	531	評価担当課名:観光課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.77
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	3.観光・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	観光資源間のネットワークとともに、農林業、商工業、地域振興との結びつきを強化し、市民・観光事業者と連携しながら、市民の主体的な参加のもとに、篠山らしさのある一体となった観光地域をめざす。		

施策名	観光資源・サービスの充実
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	新たな観光資源の発掘と育成、また、今ある観光資源を活かした参加体験型、長期滞在型観光などの推進により、リピーターや宿泊客の増加をめざす。 また、観光形態の多様化に対応するため、観光協会の一体化による連携体制の強化を図る。
---	---

施策の実施状況 と課題	平成18年度に市内観光協会が一本化し、新体制でのネットワーク強化を図った。また、観光客に対して情報サービスの提供を向上させるため、JR篠山口駅の観光案内所を改修し充実を図った。更には、大正ロマン館横の公衆トイレを改築し、観光客に対して快適な環境を提供した。宿泊施設では、王地山公園ささやま荘の大浴場や空調設備を改修し、宿泊施設の魅力増進を図った。 課題としては、篠山市へお越しになる観光客は、殆どが近畿エリアであり、友人同士や家族旅行のリピーターが多くを占めており、近隣地域からの観光客に宿泊していただくため、宿泊施設と市内観光施設などを周遊するプランを提案するなど、市内観光事業所が連携する体制を構築する必要がある。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
観光客入込数	年間観光客数(観光まちづくり戦略数値)	千人	-	2,878	2,783	2,700		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
王地山公園ささやま荘年間宿泊者数	王地山公園ささやま荘年間宿泊数	人	-	10,205	9,717	-	-	

総合評価	施策の達成度: -	「観光まちづくり戦略」に基づき観光まちづくりを進めていくうえで、市内の観光協会や観光・商工業者、交通関係業者、農業者の各関係団体等との協働体制の整備や観光まちづくりの気運醸成を行う。 また、市内観光資源・施設をふまえた「着地型観光」への企画・実践への具体的方針を策定する。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める	
	施策の方向性: これまで以上に力をいれる	
	↑	



施策	532	評価担当課名:観光課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.78
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	3.観光・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	観光資源間のネットワークとともに、農林業、商工業、地域振興との結びつきを強化し、市民・観光事業者と連携しながら、市民の主体的な参加のもとに、篠山らしさのある一体となった観光地域をめざす。		

施策名	情報発信の拡大
-----	---------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	多様に变化する観光客のニーズに合った情報提供に努め、観光パンフレットやHPにより、本市の多面的な魅力をアピールする。 また、インターネットなどのネットワークを活用し、イベントへの参加や本市への来訪を促進する。 東京「青山通り」など大都市内でのキャンペーンや、「青山まつり」への継続参加、歴史街道を活かした情報発信に努める。また、本市の情報を入手できる「アンテナショップ」の開設を目指す。
---	---

施策の実施状況 と課題	丹波篠山の観光情報を一元化した観光ポータルサイトを作成した。また、観光関連団体と連携した観光キャンペーンの実施や雑誌社・旅行会社を対象にキャラバン隊による広報活動の実施、東京青山まつり・東京都庁観光PR等、首都圏からの情報発信を行った。更には、篠山市内の主要6箇所の観光登山マップ(日本語/英語)や広域アクセスマップ(日本語/英語)の制作や、城下町内に道標(日本語/英語)を設置するなど、多面的なイメージアップと外国人誘客に対応した。 課題として、外国人誘客に対する環境整備が進んでおらず、誘導看板などにも英語標記されているところは少ない状況にある。今後、外国人観光客が増加していくことが予想されることから、順次多言語標記の整備を進める必要がある。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
観光案内件数	観光案内所年間案内件数	件	-	17,902	16,258	10,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
駅観光案内件数	篠山口駅観光案内所年間案内件数	件	-	11,702	9,977	16,000		

総合評価	施策の達成度: -	-	観光にかかわる情報収集とその情報発信の手段について、地域や市民団体、関係団体のネットワーク化を進め、新しい観光形態や多様な観光ニーズに応えられる体制を構築していく。 また、観光ポータルサイトの充実と情報の日々の更新により、情報発信の新鮮化が築かれるシステム化を進める。
	構成事業の妥当性: 改善が必要		
	施策の方向性:  これまで通り力を入れる		



施策	533	評価担当課名:観光課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.78
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	3.観光・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	観光資源間のネットワークとともに、農林業、商工業、地域振興との結びつきを強化し、市民・観光事業者と連携しながら、市民の主体的な参加のもとに、篠山らしさのある一体となった観光地域をめざす。		

施策名	市民生活との共存
-----	----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	観光・レクリエーション事業の連携強化をめざし、組織面での充実に加え、イベントの企画・実施団体における市民参画の強化に努める。 市民の主体的なまちづくりへの参加支援など、人的支援を活用し、農業と商業及び観光が融合した新たな拠点施設整備の検討などを行い、市民生活と共存した環境づくりを進める。
---	---

施策の実施状況 と課題	築城四〇〇年祭や「あいたい兵庫」観光キャンペーンの開催を通じて、市内各地で「まちなみアートフェスティバル」などの独自イベントや、新たな観光ボランティアガイド設立など、多くの観光客の訪れと市民の積極的なまちづくり活動が図れた。 課題として、観光イベント事業は、担い手及び財源不足等により継続が難しい状況にある。民間活力を生かした取り組みに転換していくため、行政の支援体制や補助金交付の手段について再検討する必要がある。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
デカンショ祭市職員出役数	デカンショ祭担当課外市職員出役者延べ数	人	-	80	80	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
観光ガイドボランティアによるガイド件数	ディスカバーささやまグループ観光ガイド件数	件	-	260	253	増加		

総合評価	施策の達成度: -	-	イベントの運営方法を見直し、市職員の出役を減らすとともに予算を確保し、地域や市民団体など、民間の力が発揮できるイベント運営に転換していく。 本来のイベント等の目的を再点検し、市民主導型へ誘導し地域活性の起爆剤としていくための方向付けを見出す。
	構成事業の妥当性: 改善が必要		
	施策の方向性: これまで通り力を入れる 		



施策	611	評価担当課名:公民館	関連部局:社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.80
----	-----	------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	1.市内の多様な連携・交流の促進
中項目の基本方針	市民が本市の魅力を見直し、郷土への愛着心を育むことができるよう、郷土の歴史・文化や自然の学習を促進するとともに、市内における多様な交流や、多分野にわたる人材ネットワークの構築、団体間の交流を促進する。		

<b>施策名</b>	<b>交流機会の充実</b>
------------	----------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>市民の暮らしを支え、地域に根付いた自治会などの様々な市民活動を支援するとともに、少子高齢化、核家族化などへの対応も視野に入れた地域間交流や世代間交流などを展開していく。</p> <p>市内における多種多様な祭事やイベントの継承・充実を図るとともに、生涯学習やスポーツ、ボランティア、NPO活動などの各種団体間の交流や情報交流の機会を設けるなど、市民の身近な活動における交流を促進する。</p> <p>また、集落、小学校区などのコミュニティにおける連携・交流を促進し、「地域で助け合う、支えあう」といった連帯意識の向上を図るとともに、すべての市民が気軽に交流できる環境づくりを進める。</p>
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>地域を離れている人たちがイベントを機に帰り地元の良さを見直すとともに、にしきふるさとまつりなど地域の人たちが協力してひとつのことを成し遂げることを目的に事業を展開した。</p> <p>また、スポーツクラブ21の活動は、市民交流やコミュニティづくりにも繋がっている。今後も、多世代の交流、地域間の交流を目的とした事業をより推進するとともに、参加者ニーズを把握し、それに応じた工夫が必要である。</p> <p>通学合宿については、地域内での子どもの育成を核として地域コミュニティの向上をめざし実施しているが、実施団体が固定化しているため新たな団体への働きかけが必要である。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
通学合宿の実施数	通学合宿を実施した団体数	団体	-	4	3	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
西紀ふるさと祭り参加者数		人	-	1,000	中止	-	-	

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	「交流の場づくり」を意識した社会教育事業に取り組むことが出来ており、事業実施にあたっては、ボランティア活動による市民交流が進んだ。 事業展開の際、世代間や地域間がより身近になるよう意識付けを行い、参加者のニーズ把握や、まちづくり協議会との連携など、現在の社会環境等に対応した事業展開を行う。 通学合宿については、市全域で自主的な活動として実施されるよう地域理解・人材育成を進める。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	縮小していく 	



施策	612	評価担当課名:公民館	関連部局:社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.81
----	-----	------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	1.市内の多様な連携・交流の促進
中項目の基本方針	市民が本市の魅力を再発見し、郷土への愛着心を育むことができるよう、郷土の歴史・文化や自然の学習を促進するとともに、市内における多様な交流や、多分野にわたる人材ネットワークの構築、団体間の交流を促進する。		

<b>施策名</b>	<b>郷土学習の推進</b>
------------	----------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>地域への理解、愛着を深めるため、生涯学習との連携を図りながら、公民館などを中心に、本市の歴史・文化から現代の本市の姿、将来あるべき本市の姿まで、総合的に学ぶ郷土学習の機会づくりに努める。また、地域や歴史を指導できる人材の登録、活用を図る「まなびすとバンク」の充実を図るなど、人材のネットワーク化を促進する。また、学校においても、地域の方々に講師として参画してもらうなど、地域に密着した郷土学習を一層進める。</p>
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>ささやま市民文化講座、丹波ささやまおもしろゼミナール、古文書入門講座において、篠山の歴史や文化を学びたいと願う人に支持され、事業については多くの参加者を得ている。ただ、年代層が限られていることから、新たな年代層に参加してもらえる事業の検討が必要である。併せて、平日は仕事で講座に参加できない市民を対象とした事業実施も検討したい。また、地域の歴史や文化を学校等の学習資料として活用できるよう作業を進めている。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
地域や歴史の指導登録者数	まなびすとバンクにおける地域・歴史関係の登録者		人	6	20	12	増加		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 

講義の参加者が講師や支援者になるなど、事業自体が活性化しており、今後も郷土愛を高める手段として企画・運営に関する市民参画を図る。  
また、化石などの新たな資源を活かした活動の展開を行っていく。



施策	621	評価担当課名:企画課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.82
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	2.丹波地域内の連携・交流の促進
中項目の基本方針	丹波の森構想にもとづいた地域づくりを進めるとともに、構想の推進を通じた連携・交流を促進する。		

<b>施策名</b>	<b>魅力ある地域の形成</b>
------------	------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「県立丹波並木道中央公園」の運営にあたっては、丹波らしい公園運営を方針として、公園を「つかう(利用)」という機能を中心に、住民参加型の企画運営や情報交流の場の設定などを展開していく。一方、丹波の魅力を一層高めるために、「四季の森生涯学習センター・四季の森公園」や「陶の郷」などを活用しながら、丹波地域の特産を活かした交流を促進する。 また、丹波市、丹波の森協会、丹波の森公園、丹波県民局などの関係行政機関などとの連携を強化しながら、魅力あるまちづくりを推進する。
---	--

施策の実施状況 と課題	「丹波の森宣言」から20年を契機に丹波の森構想評価・検証委員会において、これまでの検証と新展開構想が掲げられた。21世紀に入り、少子高齢化や地球温暖化など社会・自然条件の変化が顕在化する中、丹波の森構想は、新しい時代にも充分対応できる理念であると考えられることから、丹波地域の特性を活かし、時代の先駆的な地域づくりを行うためにも、両市に分布する篠山層群での恐竜、哺乳類化石など新しい地域資源の活用をはじめとする連携を進めることが求められる。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
交響ホール友の会の丹波地域在住会員数		人	H17 596	129	143	900		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	丹波の森構想については、新たな展開方策が示され、シンポジウムなどの開催が行われた。 今後は篠山層群での恐竜、哺乳類化石など新しい地域資源の活用などにより連携を進める。 また、(財)兵庫丹波の森協会と連携した、空き家を活用する施策等を通して、関係行政機関と連携しながら魅力あるまちづくりについても共に考えていく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	
			



施策	631	評価担当課名:企画課	関連部局:生活課	後期基本計画掲載 P.83
----	-----	------------	----------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	3.県内・近隣市町等との連携・交流の促進
中項目の基本方針	県内・近隣市町などとの多様な連携・交流を促進し、他市町との協調による行政課題への積極的な対応や、住民間などの情報交換、連帯などを通じた環境にやさしい快適なまちづくりを推進する。		

<b>施策名</b>	<b>交流事業の促進</b>
------------	----------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「三たん地方開発促進協議会」への参加や、「丹波少年自然の家事務組合」への参加を通じ、相互のネットワーク形成など、連携・交流を促進する。
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>「三たん地方開発促進協議会」は休止状況にある。「丹波少年自然の家」は阪神丹波の自治体が連携して運営に当たっている。また、共通の歴史を有しながら、府県が異なることから目立った交流のなかった京都丹波と兵庫丹波の交流促進の機運が高まり、大丹波連携推進協議会の設立に繋がった。</p> <p>京都丹波との連携については、有害鳥獣対策、観光など共通の課題を連携して対応することができるかが今後の課題となる。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
兵庫5カ国交流会議	交流回数	回	-	5	5	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	他都市との連携交流については、兵庫5カ国交流会議や阪神丹波市長会などにおいて交流があり、また将来の姉妹都市提携に向けて高山市との交流を開始したほか、新たに京都丹波の枠組みで交流が始まった。 今後は現在取り組まれている「大丹波連携推進協議会」での鳥獣害対策や観光などに加え、過疎化が進む東部地域の活性化のために京都府内の近隣市町等との連携による事業展開について、早期により具体的に検討する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	632	評価担当課名:企画課	関連部局:観光課	後期基本計画掲載 P.83
----	-----	------------	----------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	3.県内・近隣市町等との連携・交流の促進
中項目の基本方針	県内・近隣市町などとの多様な連携・交流を促進し、他市町との協調による行政課題への積極的な対応や、住民間などの情報交換、連帯などを通じた環境にやさしい快適なまちづくりを推進する。		

<b>施策名</b>	<b>都市との交流の推進</b>
------------	------------------

<p><b>施策の内容</b> (後期基本計画記載事項の要約)</p>	<p>「ささやまの森公園」や里山、「篠山チルドレンズミュージアム」などを活用し、自然体験のプログラムの開発や参加体験事業を進め、都市部との連携・交流を積極的に推進する。                  武庫川や加古川流域圏、JR福知山線沿線など、共有基盤を活かした連携・交流を促進する。                  また、都市部の販売拠点施設との連携も含め、本市の特産物などを販売するアンテナショップの設置を検討する。</p>
---	---

<p><b>施策の実施状況と課題</b></p>	<p>「ささやまの森公園」や「篠山チルドレンズミュージアム」では、テーマに応じた参加体験活動を実施し、リピーターの増加など地域の魅力の発信による交流が広がっている。共有基盤を生かした連携としては、沿線市町、JRなどと連携した情報誌の作成、JR福知山線駅のスタンプラリーなどを行っている。また、生態系、歴史文化などを通じた交流としては、丹波焼ボランティアガイドやクリンソウを守る会など観光ボランティアガイドにより丹波焼窯元やクリンソウ自生地への案内を行なうなど、これまでにない体験プログラムを進めることができた。                  共有基盤を活かした交流の課題としては、京都、播磨などとの街道を基軸とした広域観光ルートの開発などが考えられる。また、観光ボランティアガイドの取り組みは、観光客へのサービス向上に加え、観光ガイドの生きがいづくりにまで効果が及んでいるため、一過性のものでなく、継続できる事業となるよう資金援助などの環境を整える必要がある。</p>
--------------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
城東味まつり来場者数	城東味まつりに来場した人数	人	-	10,000	11,000	11,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
チルドレンズミュージアムの市外来館者数		人	60,005	57,001	54,664	65,000		

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	丹波焼ボランティアガイドやクリンソウを守る会など、観光ボランティアガイドを活用した体験型プログラムを進めることができた。 今後も、団体による自主的活動に対し、広報や関係者との連携等、側面的支援を行い、長期滞在型の観光に結びつけていくとともに、共有基盤を活かした広域観光の開発や連携交流を促進する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	641	評価担当課名:政策部	関連部局:観光課、農林課、企業振興課	後期基本計画掲載 P.84
----	-----	------------	--------------------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	4.国内の連携・交流の促進
中項目の基本方針	全国に向け積極的かつ多様な手法で本市の魅力を発信し、全国の篠山ファンを増加し、交流人口の増加を図ることにより、市内の各産業の活性化を図る。		

施策名	情報発信による連携・交流の拡大
-----	-----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	市外への情報発信については、丹波黒枝豆や猪肉、様々なイベントをはじめとした本市の特性や魅力について、きめ細やかな情報発信を全国に向けて積極的に行うとともに、その推進体制についても充実・強化を図る。また、特産物やイベントの利用者の意向調査を行い、新しい魅力を発掘し質の高い情報を提供するための研究や開発を促進するとともに、インターネットなど情報技術を活用して、地域間の連携・交流の一層の強化を図る。 さらに、歴史的資源の積極的活用や市内外企業での交流を踏まえた情報発信なども検討する。
---	--

施策の実施状況 と課題	篠山のシンボルである国指定史跡「篠山城」が、築城400年を迎えるにあたり、これを契機として新たなまちづくりに取り組むため「丹波篠山築城400年祭事業」を実施した。結果として、市の主催事業のほかに、お城周辺だけでなく、市内各地域で77もの市民主体の協賛事業に取り組んでいただき、歴史・文化と美しいまちの佇まい、多くの特産物、人の絆など篠山の良さを再認識することができた。 また、いち早く観光情報を提供するため、観光専用のホームページを制作し、イベントや観光施設、観光事業所の紹介などの情報を提供した。課題として、アンケート集計データから「篠山ファン」となるべく客層と地域に対し、ホームページなどの情報媒体を使って、積極的に情報を伝えていく必要がある。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
市ホームページの観光ページアクセス数	ページビュー数	件	-	-	668,159	800,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
ふるさと応援団員数	ふるさと応援団加入者人数	人	-	130	230	-	-	

総合評価	施策の達成度 -	計画通り進める  これまで通り力を入れる 	築城400年祭事業について、市内の様々な団体や自治会が参加した取り組みがなされ、歴史・文化・特産物など篠山の良さを再認識できた。 今後は、いち早く観光情報を提供するため、「丹波篠山観光ポータルサイト」の内容充実に取り組み、本市の魅力を発信し、篠山ファンの増加を促すと共に「着地型観光」の企画・実践に向けた取り組みを行う。
	構成事業の妥当性		
	施策の方向性		



施策	651	評価担当課名:生活課	関連部局:中央図書館	後期基本計画掲載 P.86
----	-----	------------	------------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	5.様々な国・人との連携・交流の促進
中項目の基本方針	多文化共生のまちづくりに向け、市民の国際交流・理解・協力活動や在住外国人への生活支援活動を積極的に支援し、小中学校・図書館などでの学習活動・資料収集などを推進する。また、国際交流に関わる市民団体との連携・協力を図り、姉妹都市などを通じた国際交流活動を推進する。		

<b>施策名</b>	<b>地域に根ざした国際交流の推進</b>
------------	-----------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>市内在住外国人が、篠山市民として安心・安全な市民生活が送れるよう取り組む。国際理解教育を推進し、また国際理解施策に在住外国人の意見を反映するため、「在住外国人市民会議(仮称)」の早期立ち上げを目指すなどを各種機関や市民団体、在住外国人との連携及び協力体制の強化を図る。</p> <p>外国語図書の実態など異文化理解に重点を置き、相互理解や相互協力につながる活動を幅広く推進する。</p>
--	--

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>昨年度立ち上げを目指していた「在住外国人市民会議(仮称)」の設立については、篠山市内在住外国人に係るさまざまな問題解決に、積極的に取り組むことを目的として「在住外国人支援に関する庁内関係課連絡会」を設立することを計画した。構成員は、在住外国人支援に積極的に取り組んでいるNPO法人篠山国際理解センターと在住外国人支援に関わる庁内関係課とし、年数回連絡会を実施する。平成22年度は、多文化共生の現状と課題をテーマとして、連絡会を実施する。これにより、在住外国人支援に関する課題を整理し、課題解決にむけた取組を検討する。そして、近年増加している多文化共生相談件数が減少するよう、多文化共生のまちづくりを目指す。</p> <p>中央図書館では国際理解や国際交流の促進に役立つ図書の収集・提供に努めてきた。しかしながら、在住外国人の母国語で書かれた図書の冊数はまだ十分とは言えず、更に収集を促進する必要がある。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
多文化共生相談件数 (在住外国人生活支援)		件	-	95	137	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
図書館外国語資料数		冊	135	164	165	270		

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	<p>NPO法人篠山国際理解センターや関係各課との連携を行い、在住外国人支援に関する課題を整理し、課題解決にむけた取り組みを行う。</p> <p>文化や生活習慣の違いを認め合い互いに尊重し合う多文化社会の実現を目指し、関係者との協力や連携を密にした地域づくりを今後も展開する。</p>
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで以上に力をいれる 	



施策	652	評価担当課名:生活課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.86
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	5.様々な国・人との連携・交流の促進
中項目の基本方針	多文化共生のまちづくりに向け、市民の国際交流・理解・協力活動や在住外国人への生活支援活動を積極的に支援し、小中学校・図書館などでの学習活動・資料収集などを推進する。また、国際交流に関わる市民団体との連携・協力を図り、姉妹都市などを通じた国際交流活動を推進する。		

施策名	より広範な国際交流の推進
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	姉妹都市提携を通じた国際交流をはじめとして、広く海外との交流を促進し、人材・情報・文化など、幅広い分野での交流事業を推進する。
---	---

施策の実施状況と課題	国際姉妹都市提携をしている2市のうち、ワラワラ市においては、毎年交流事業を展開しているが、エビダウロス市との交流が進んでいない。エビダウロス市との交流が課題である。
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
ワラワラ短期交換留学生受入・派遣事業	参加人数	人	-	18	25	-		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	篠山市姉妹都市委員会との連携を密にし、引き続き国際交流を推進する。今後も多くの市民の方々に参画をいただき、交流を促進していく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる 	



施策	711	評価担当課名:市民協働課	関連部局:企画課、総務課	後期基本計画掲載 P.89
----	-----	--------------	--------------	------------------

施策大綱大項目	計画の推進	中項目	1.計画の推進
中項目の基本方針	厳しい行財政状況のなかで、効率的・機動的な行財政運営や行政情報の公開を進め、市民と行政の参画と協働にもとづく透明性の高い行政をめざすとともに、本総合計画の着実な実現を図る。		

<b>施策名</b>	<b>情報公開と市民参加の推進</b>
------------	---------------------

<b>施策の内容</b> <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	積極的な情報公開のための行政資料サービスコーナーを設けるなど、市民に対する普及・啓発活動の推進や、市民の生の声や積極的な提案を聴取する機会を増やし「市民との参画と協働」を通じて、市民の望む社会を育てていくまちづくりを推進する。
--	---

<b>施策の実施状況と課題</b>	<p>日頃から市政の情報公開については、市議会や定例記者懇談会、広報誌、ホームページ等を通じて、市民に早期かつ分かりやすく情報発信するよう心がけている。また、ふるさと一番会議やこんにちは市長室により、市長が直接市民の声を聴くことで今後の市政に反映できると考えているが、個人からの陳情や要望の場となっており、参加される市民がいつも同様であるため、若い世代の参加が必要である。</p> <p>一方、平成18年10月に施行された自治基本条例では、情報の共有、会議の公開、附属機関等への公募委員などにより「参画と協働」の手法に位置づけられており、これらを基本としたまちづくりを目指している。その中で、環境基本計画や教育振興基本計画等、重要な施策の決定、実施にあたり、パブリック手続条例に基づき、広く市民の意見を求めた。</p> <p>また、平成22年1月から市民の皆さんをたらいまわしにしない市役所を目指して、ワンストップ総合窓口「ささっとフロア」を開設し、毎週火曜日の17:15～19:00までと毎月の最終日曜日の8:30～12:00まで取扱時間を延長し窓口サービスを実施している。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
ふるさといちばん会議	参加人数	人	-	375	541	-	-	H22は、教育懇談会と合同開催
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
パブリックコメントの件数	実施及び評価にあたり、広く市民の意見を求める	件	-	6	4	-	-	

<b>総合評価</b>	施策の達成度	-	市政の情報公開については、記者懇談会、広報等で早期かつ分かりやすい情報発信を行うようにしている。 また、「ふるさと一番会議」、「こんにちは市長室」など、幅広い市民の皆様が参加・発言しやすい体制を構築する。 今後も市政の情報を提供する広報紙やホームページについては市民に早期かつ分かりやすく情報を発信する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	➡ これまで通り力を入れる	



施策	712	評価担当課名:行政経営課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.89
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	計画の推進	中項目	1.計画の推進
中項目の基本方針	厳しい行財政状況のなかで、効率的・機動的な行財政運営や行政情報の公開を進め、市民と行政の参画と協働にもとづく透明性の高い行政をめざすとともに、本総合計画の着実な実現を図る。		

施策名	行政改革の推進
-----	---------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	行政評価システムを確立し、効率的な行財政運営を目指すとともに、行財政情報の一層の透明化と、市民と行政の役割分担の明確化により、市民と行政のパートナーシップの構築を進める。 また、給与・人事制度の見直し、組織の効率化に向けた再編成などを進め、職員の意識改革を推進する。
---	--

施策の実施状況 と課題	行財政改革については篠山再生計画(行財政改革編)を平成20年11月に策定、抜本的な取組みを進めるとともに、毎年度その効果を検証し、新たな改革項目にも取り組んでいる。また、取り組み結果や検証等は市民で構成される篠山再生計画推進委員会において、審議をいただくとともに、市広報やホームページで広く公表している。更に、受益者負担の適正化や収納率の向上や業務改善なども含めて職員の意識改革を推進している。行政評価については、平成21年度から、従来の事務事業評価から一段階上の施策評価に取組み、新総合計画の策定に合わせて、本格実施を目指す。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
実質公債比率	市全体の公債費負担を示す財政指数	%	-	21.7	22.7	23.0		H21 宍粟市19.6
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H20実績値	H21実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
職員数の削減	普通会計正規職員数	人	553	447	421	479		H21 宍粟市481

総合評価	施策の達成度 -	篠山再生計画による行財政改革の取組みはほぼ着実に実行し、また再生計画推進委員の意見聴取や取組状況の公表を実施した。 今後は次期総合計画の策定に合わせて、総合計画及び予算決算と連動した行政評価システムの構築に取り組む。
	構成事務事業の妥当性 計画通り進める	
	施策の方向性 これまで通り力を入れる 	



施策	713	評価担当課名:企画課	関連部局:全ての部局	後期基本計画掲載 P.89
----	-----	------------	------------	------------------

施策大綱大項目	計画の推進	中項目	1.計画の推進
中項目の基本方針	厳しい行財政状況のなかで、効率的・機動的な行財政運営や行政情報の公開を進め、市民と行政の参画と協働にもとづく透明性の高い行政をめざすとともに、本総合計画の着実な実現を図る。		

施策名	適正な人口規模の実現
-----	------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	活力とにぎわいのあるまちづくりを継続・発展させていくために、適正な人口規模として6万人の実現を目指す。個性の尊重や共生を目指しながら、少子化、雇用、住環境、交通など人口の維持・増加につながる瀬策を様々な分野において効果的に展開する。また、体制やシステム面の整備など、適正な人口規模の実現に向けた創意工夫を全市をあげて取り組む。 一方、団塊世代の大量退職など、人口動向に流動的な要素があるため、基本構想における人口フレームについては適正な人口規模を踏まえた上で検討を行う。
---	--

施策の実施状況 と課題	兵庫県が示した平成32年(2020)の篠山市の人口推計は、40,700人(中位標準型)となっている。そこで、篠山再生計画においては、子育て支援、景観、産業、文化など篠山の魅力を高め、発信することで、定住人口の確保を図り、平成32年(2020)の目標人口である42,000人をめざしている。 現在策定中の次期総合計画においても、少子高齢社会への流れをもとに、統計的な人口見通しである約40,000人という10年後の見通しをもとに、活性化施策の展開により、42,000人をめざす方向で検討されている。 人口の推移のみを注目するのではなく、変化する人口構造に対応できる篠山市の地域づくりが課題となる。
----------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
市内在住人口			人	47,367	45,760	45,352	42,000		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度 -	-	課題となっている「変化する人口構造に対応できる篠山市の地域づくり」ということをより具体的に分析し、次期総合計画策定後は速やかに10年後の42,000人となった篠山市のイメージを創り上げ、市民と共に地域づくりに取り組む。
	構成事務事業の妥当性 -	-	
	施策の方向性 ↑ これまで以上に力をいれる		



施策	714	評価担当課名:企画課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.90
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	計画の推進	中項目	1.計画の推進
中項目の基本方針	厳しい行財政状況のなかで、効率的・機動的な行財政運営や行政情報の公開を進め、市民と行政の参画と協働にもとづく透明性の高い行政をめざすとともに、本総合計画の着実な実現を図る。		

<b>施策名</b>	<b>計画のフォローアップ体制の確立</b>
------------	------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「総合計画」は長期的な展望に立ち、めざすべき将来像を達成するために実施する施策の体系や事業内容を定めたものであり、その推進にあたっては時代の情勢に柔軟に対応することも必要になってくるため、短期的な視点に立った実施計画を策定し、庁内の各部を横断する連絡調整体制を整えるとともに、計画の検証及び各個別計画との整合性を図る。また、一年ごとの人口の動向を確認・検証し、人口規模に即した事業調整や事業計画の見直しを図るとともに、市民の視点に立った効率的な施策を推進するため、基本計画の着実な実現を目指す。
---	---

施策の実施状況と課題	総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めるためには、個別の事業計画により事業展開を進めることとなるが、時代情勢などにより計画外の事業の必要性も生じる。そのため、目的の重複や効果の不透明さが見られるようになることから、フォローアップ体制の充実が求められる。 次期総合計画の策定の中で、計画の実現性を高めるために、計画と予算、行政評価を一体のものとしてPDCAの流れをより明確にする枠組みを想定している。
------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

<b>総合評価</b>	施策の達成度 -	計画通り進める  これまで通り力を入れる 	計画の実現性を高めるために、計画と予算、行政評価を一体のものとした、PDCAの確実な実施について、総合計画策定後、より具体的なスケジュールやマニュアル等を平成23年度早期に創り上げる。
	構成事務事業の妥当性		
	施策の方向性		

